

都市計画区域マスタープランの関連資料

第1章関連

- 1-1 広域的な都市計画区域マスタープラン策定の必要性・・・1
- 1-2 圏域設定の考え方・・・2

第2章関連

- 2-1 広島県の基本理念と目指す姿・・・7

第3章関連

- 3-1 圏域の現状

第4章関連

- 4-1 区域区分の有無の判断基準・・・9
- 4-2 各都市計画区域の区域区分の有無・・・10
- 4-3 都市の成長性等の検討・・・32

第 1 章 関連

1-1 広域的な都市計画区域マスタープラン策定の必要性

都市計画区域マスタープランは、都市計画区域毎に長期的視点に立った都市の将来像及び基本目標を明確にし、その実現に向けての大きな道筋を明らかにするものです。

しかしながら、県民の活動範囲は 1 つの都市に留まるものではなく、その策定に当たっては、隣接・近接する他の都市計画区域や都市計画区域外の現況及び今後の見通しを勘案するなど、広域的視点を確保することが求められます。

また、記載内容も当該都市計画区域内に関するものに限られるため、複数の都市計画区域や都市計画区域内外にわたる課題への対応に限界があります。

そこで広島県では、このような広域的視点の必要性を踏まえて、県下 22 区域の都市計画区域について、一定のまとまりをもつ圏域を設定し、圏域単位での広域的な整備、開発及び保全の方針を策定します。

1-2 圏域設定の考え方

(1) 日常生活上の結びつきによる検証

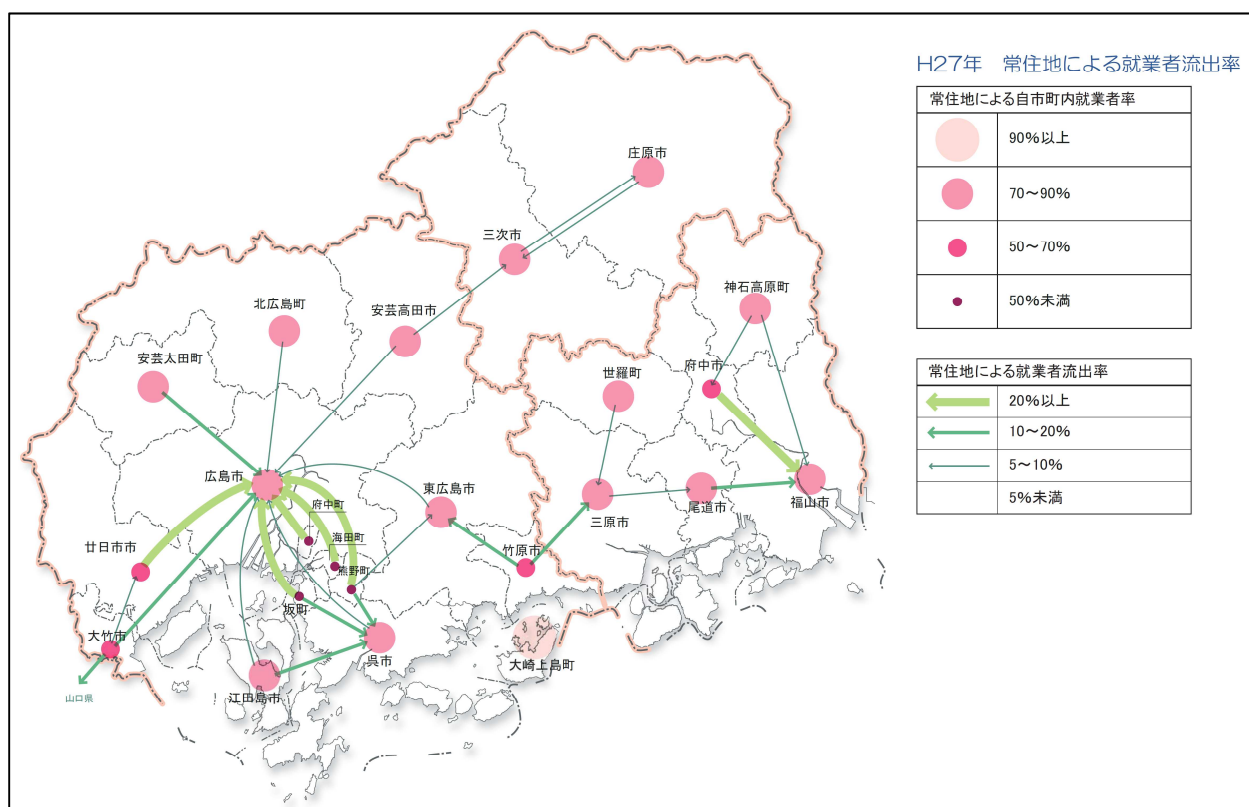
ア 通勤に伴う都市間の流出・流入人口

常住地による自市町内就業者率と常住地による5%以上の就業者流出率を下図に示します。

広島圏においては、他市町から広島市への流入が最も顕著であり、その他、東広島市、呉市、廿日市への流入もあります。安芸高田市や竹原市においては、他の圏域への流出もありますが、広島市や東広島市への流出率の方が大きく広島圏との結びつきの方がより強い状況となっています。また、安芸郡4町においては、自市町内の就業率が50%未満であり、広島市への流出が20%以上となっていることから、広島市への依存傾向があることが確認できます。

備後圏においては、他市町から福山市への流入が最も顕著であり、その他、三原市、尾道市、府中市への流入もあります。

備北圏においては、三次市と庄原市の間で相互に流出・流入があります。



※出典:「国勢調査(平成27年総務省)」

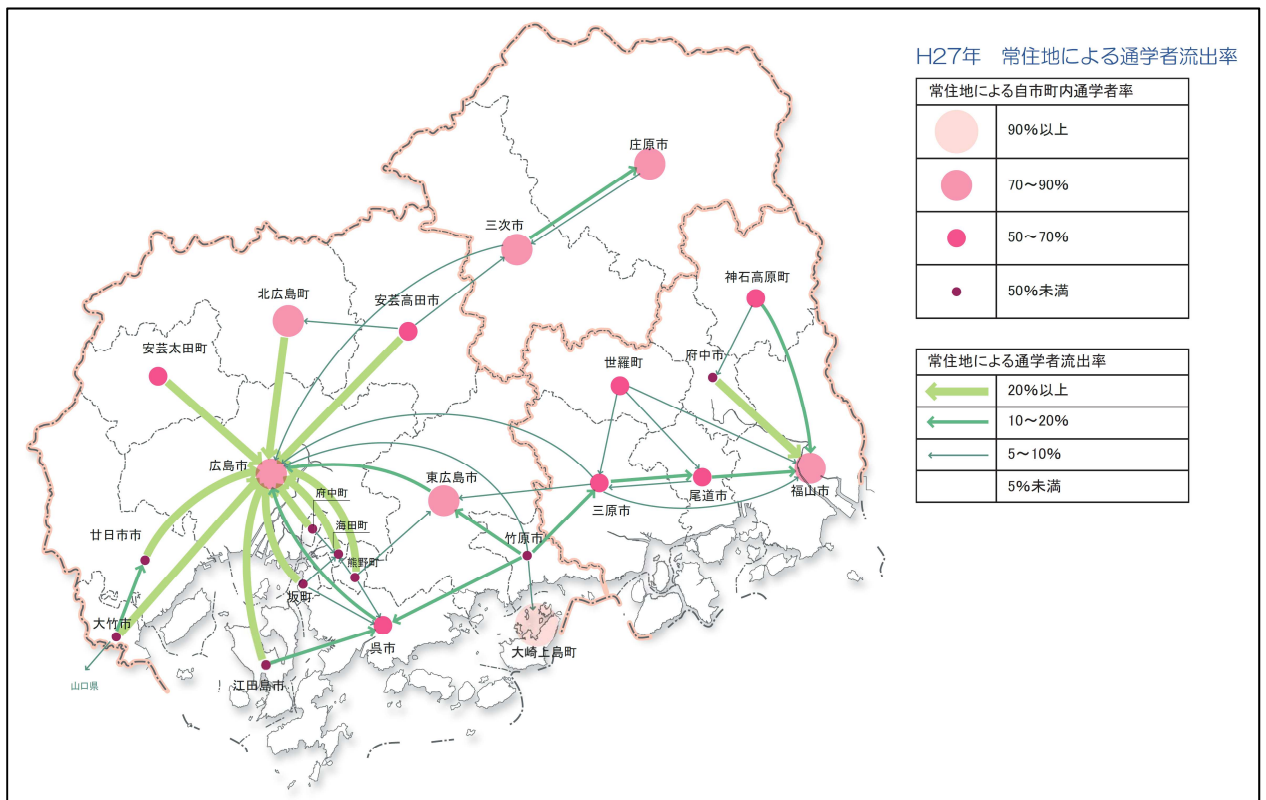
イ 通学に伴う都市間の流出・流入人口

常住地による自市町内通学者率と常住地による5%以上の通学者流出率を下図に示します。

広島圏においては、他市町から広島市への流入が最も顕著であり、その他、東広島市、呉市、廿日市などへの流入もあります。安芸高田市や竹原市においては、他の圏域への流出もありますが、広島市や東広島市、呉市への流出率の方が大きく広島圏との結びつきの方がより強い状況となっています。また、一部の市町においては、自市町内の通学者率が50%未満であり、他都市への依存傾向があることが確認できます。

備後圏においては、他市町から福山市への流入が最も顕著であり、その他、三原市、尾道市、府中市への流入も確認できます。三原市においては、広島市や東広島市への流出も確認できますが、尾道市や福山市への流出率の方が大きく、備後圏との結びつきの方がより強い状況となっています。

備北圏においては、三次市と庄原市の間で相互に流出・流入があります。三次市においては、広島市への流出も確認できますが、庄原市への流出率の方が大きく、備北圏との結びつきの方がより強い状況となっています。



※出典:「国勢調査(平成27年総務省)」

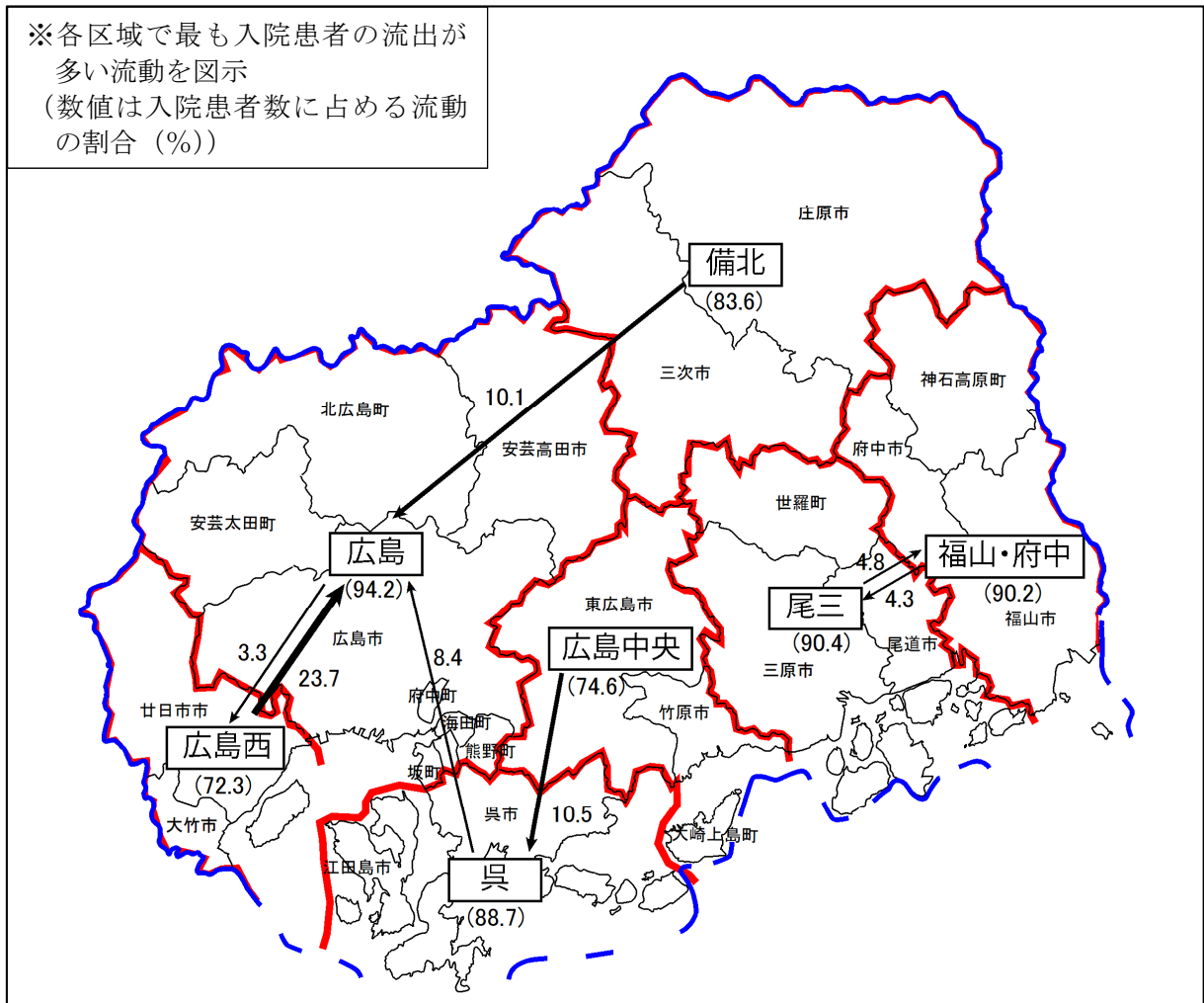
ウ 入院に伴う区域間の流出・流入人口

将来の医療提供体制に関する構想をとりまとめた「広島県地域医療構想」（平成28年3月）において、病床の機能の分化及び連携を一体的に推進する区域として7つの区域を設定しています。

各区域とも一般入院患者の受療動向は70%以上が区域内で完結しており、設定された区域で一定の医療機能が充足されていると考えられます。

また、各区域間の流動では、広島西地域、呉地域、備北地域は広島地域への流出が最も多く、広島中央地域は呉地域への流出が最も多くなっており、この5区域内で医療機能の補完がなされていることが確認できます。同様に、福山・府中地域と尾三地域間の流動が両地域で最も多く、この2区域内で医療機能の補完がなされていることが確認できます。

■入院に伴う区域間の流動（一般入院）



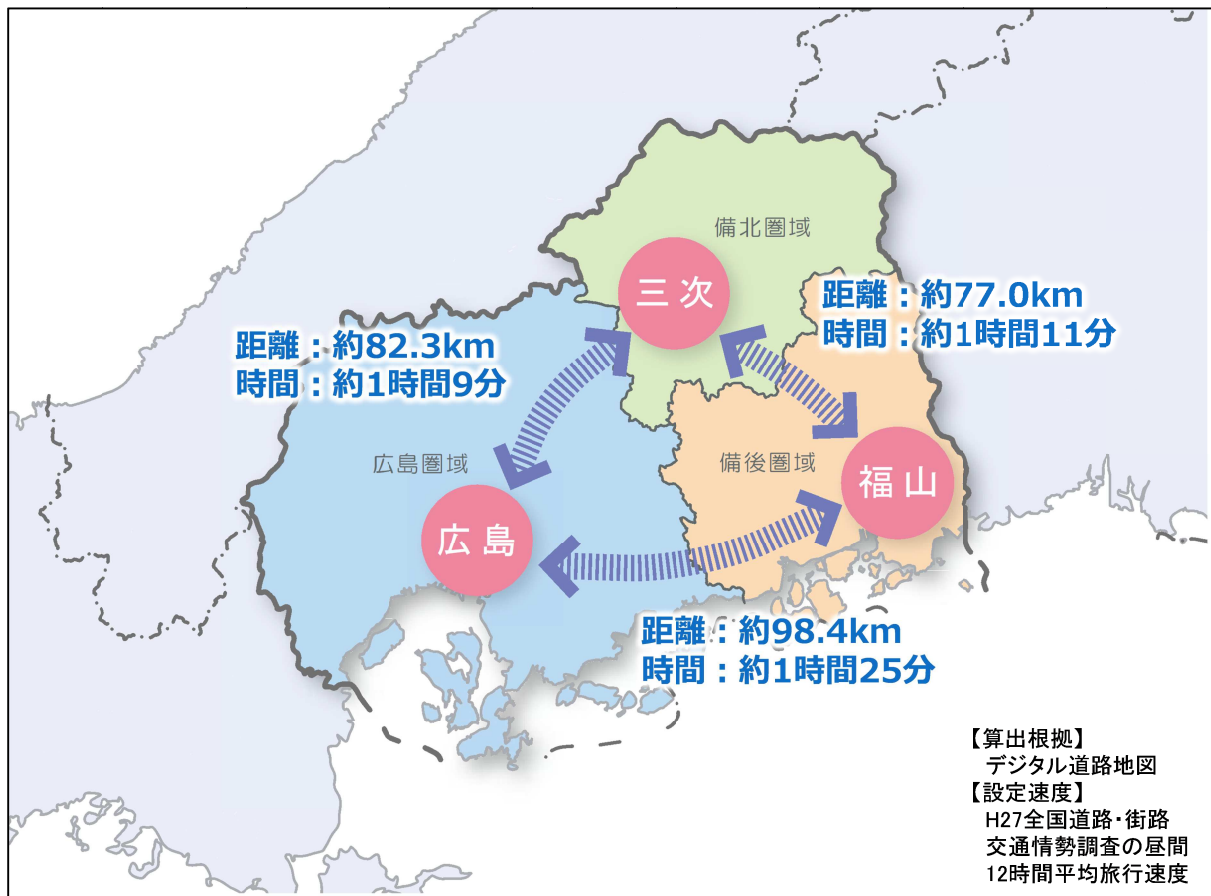
※出典:「広島県地域医療構想(平成28年広島県)」

(2) 都市の地理的位置関係による検証

国が市町村を対象に実施したアンケート調査によると、日常生活圏の時間距離の目安は20分～1時間程度となっており、圏域の設定としても、中心市から時間距離で1時間程度に収まる範囲が妥当であると考えられます。

広島圏域、備後圏域、備北圏域の中心市を広島市、福山市、三次市とした場合の中心市から概ね1時間程度で移動できる範囲を下図に示します。(高規格幹線道路を利用することを想定)

各圏域内は、広島市、福山市、三次市の中心部から、概ね1時間程度で移動できる範囲に収まっています。



(3) 上位計画との整合性

広島県土地利用基本計画（平成30年3月）【上位計画】

本県における適正かつ合理的な土地利用に関する基本方針を定めた「広島県土地利用基本計画」では、自然的、社会的及び経済的諸条件を勘案して、広島地域、備後地域、備北地域の3つの地域に区分しており、整合しているものと考えられます。

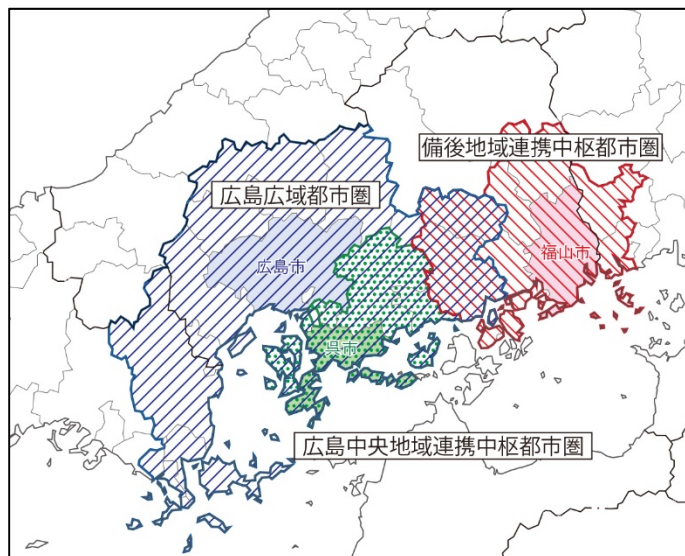


基本方針	
広島	中枢拠点性の向上、高次都市機能の強化、広域・国際交流圏を牽引する拠点的な生活圏形成、農林水産業の生産基盤の整備や生活環境の整備、地域振興の促進、太田川流域の土地利用を踏まえた防災・減災対策の取組、世界遺産を活用した交流の拡大 等
備後	福山中核都市圏として高次都市機能の強化・産業の高度化、農林水産業の生産基盤の整備や生活環境の整備、地域振興の促進、芦田川流域の土地利用を踏まえた防災・減災対策の取組、地域資源の活用による広域交流の拡大 等
備北	都市部への機能集積、交流人口の定着・拡大、新たな担い手確保、荒廃農地の適切な利用、農林業の基盤整備、農林地の保全、地域の資源・環境の保護、江の川流域の土地利用を踏まえた防災・減災対策の取組、里山などの地域資源の活用による交流 等

(参考) 連携中枢都市圏構想

人口減少・少子高齢社会においても、地域を活性化し経済を持続可能なものとし、国民が安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするため、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市と近隣の市町村が連携し、一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持することを目的とした連携 中枢都市圏構想の取組が全国的に進められています。

本県では、広島市を連携中枢都市として山口県の一部の市町を含む11市13町で構成される広島広域都市圏と、福山市を連携中枢都市として岡山県の一部の市を含む6市2町で構成される備後圏域、呉市を連携中枢都市として4市4町で構成された広島中央地域連携中枢都市圏の3つの都市圏において、広域連携による連携中枢都市圏の形成のための取組が進められています。



広島広域都市圏	広島市、呉市、竹原市、三原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、岩国市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町 (計：11市13町)
備後地域連携中枢都市圏	福山市、三原市、尾道市、府中市、世羅町、神石高原町、笠岡市、井原市 (計：6市2町)
広島中央地域連携中枢都市圏	呉市、竹原市、東広島市、江田島市、海田町、熊野町、坂町、大崎上島町 (計：4市4町)

第2章関連

2-1 広島県の基本理念と目指す姿

本県における都市づくりにおいては、本県の総合計画である「ひろしま未来チャレンジビジョン」で掲げる、目指す姿や実現に向けた視点を踏まえるものとします。

(1) 基本理念

将来にわたって、
「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」
と心から思える広島県の実現

(2) 目指す姿

基本理念を基に

仕事でチャレンジ！暮らしをエンジョイ！活気あふれる広島県
～仕事も暮らしも。欲張りなライフスタイルの実現～

を目指します。

目指す姿の実現に向けた視点として

イノベーション

ファミリー・フレンドリー

都市と自然の近接ライフ

を一層推進します。

本県の総合計画である“ひろしま未来チャレンジビジョン”（平成27年改訂）において、
“将来にわたって「広島に生まれ、育ち、住み、働いてよかった」と心から思える広島県の実現”
を基本理念とし、目指す姿として、仕事や暮らしに対して抱く希望を「かなえられる」と感じることが
できる社会をつくり出すことで、仕事と暮らしのどちらもあきらめず追求する、“**欲張りな
ライフスタイル**”を実現することを掲げています。

この欲張りなライフスタイルの実現に向けて、本県独自の強みや本県が元々持っている素地
を生かした、

- 生産性や利便性を向上させる「イノベーション」
- 家族と一緒に暮らしやすい社会を実現することで、様々な世帯形態の人々みんなが暮らしやすい社会につなげる「ファミリー・フレンドリー」
- 充実した都市機能と山も海もある豊かな自然が近接し、県内どこに住んでいても短時間の移動でその両方を楽しむ「都市と自然の近接ライフ」

の3点を統一的な視点として取組を進めています。

第3章 関連

3-1 圏域の現状と課題

第4章 関連

4-1 区域区分の有無の判断基準

判断基準 1

都市の成長性

次の指標により、都市の成長性の高さを判断する。

- 過去10年間の過去10年後（推計）の行政人口の推移
- DID地区の過去10年間の人口推移
- 過去10年間の商業販売額の伸び
- 過去10年間の工業出荷額の伸び
- DID地区の過去10年間の面積規模の推移

①～⑤により、都市の成長性についての総合的な検証を行う。

判断基準 2

市街地拡大の可能性

次の指標により、市街地拡大の可能性の高さを判断する。

※区域区分以外の土地利用規制での対応をまず段階的に行うことを基本とする（特定用途制限地域、用途地域等）ことから、用途地域を設定していない区域は検討を終了する。

- 過去10年間の過去10年後（推計）の都市計画区域域内人口の推移
- 同じく市街化区域（用途地域）の人口の推移
- 同じく市街化区域（用途地域）の世帯数の伸び
- 同じく商業用地需要の伸び
- 同じく工業用地需要の伸び
- 主要プロジェクト（基準年の10年後）の有無

①～⑥により市街地拡大の可能性についての総合的な検証を行う。

判断基準 3

無秩序な市街化が進行する可能性

市街地（用途地域）拡大の可能性が高いことを前提に、無秩序な市街化の進行の可能性を判断する。

- 市街地人口密度の現状
- 市街地とそれ以外の区域（白地地域）の新築動向における過去の推移
- 用途地域内外での開発動向
- 用途地域内外での農地転用状況

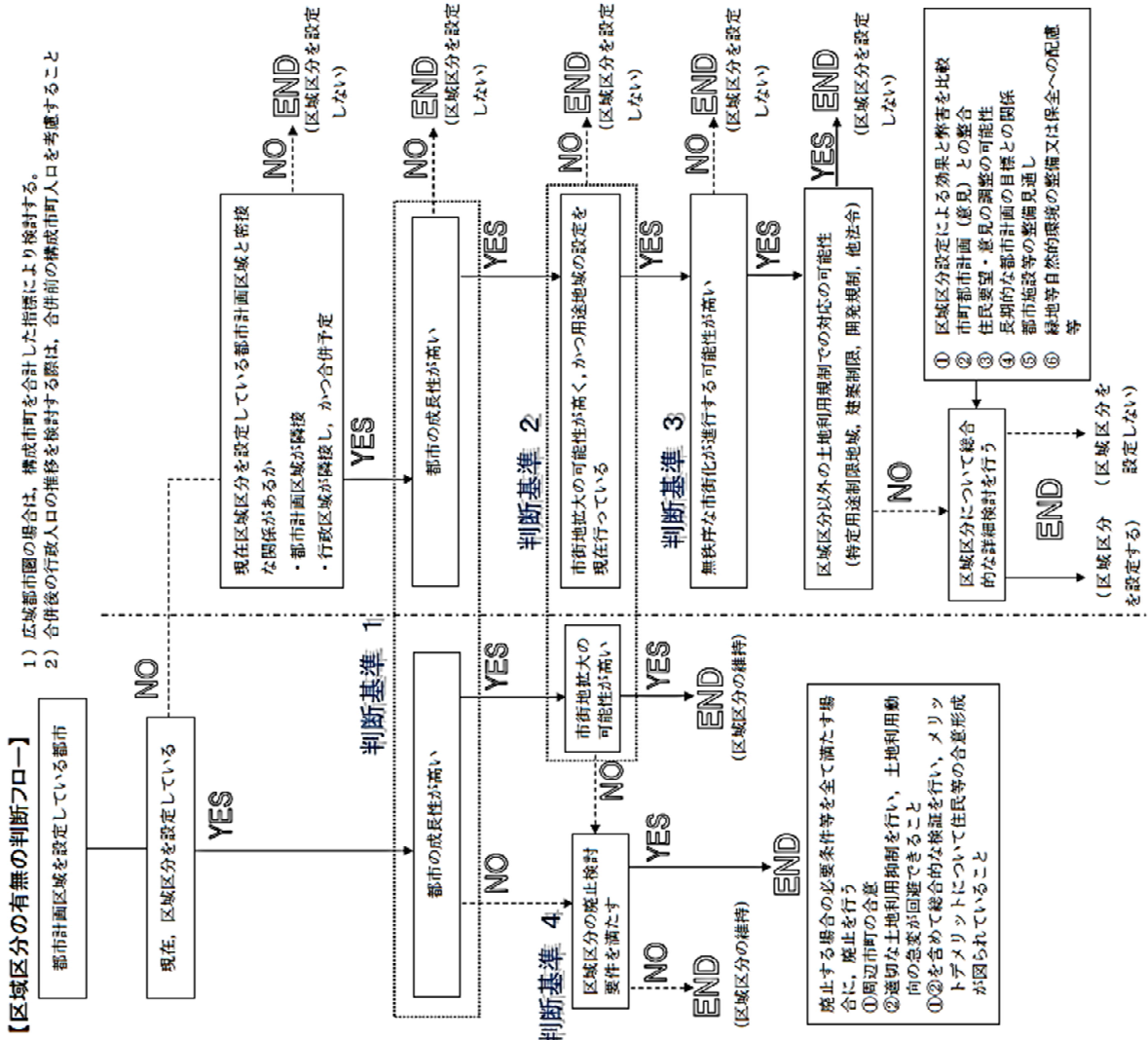
①～④により無秩序な市街化が進行する可能性について総合的な検証を行う。

判断基準 4

区域区分の修正検討要件

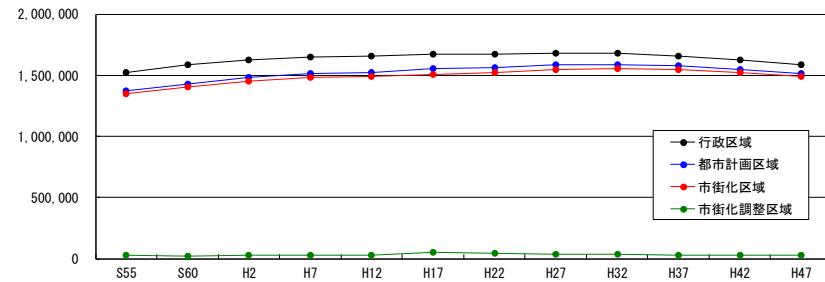
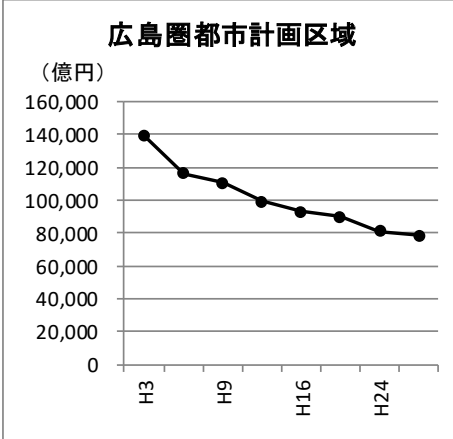
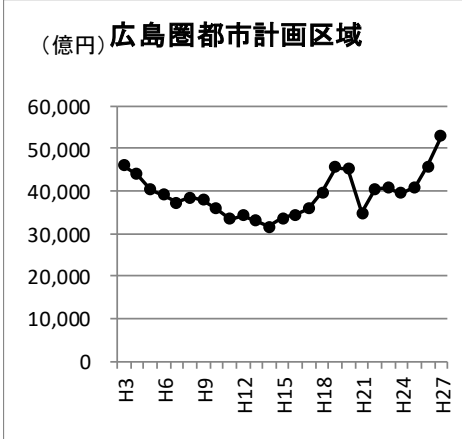
次の全てを満たす都市計画区域（又は市町村）を修正の検討対象とする。

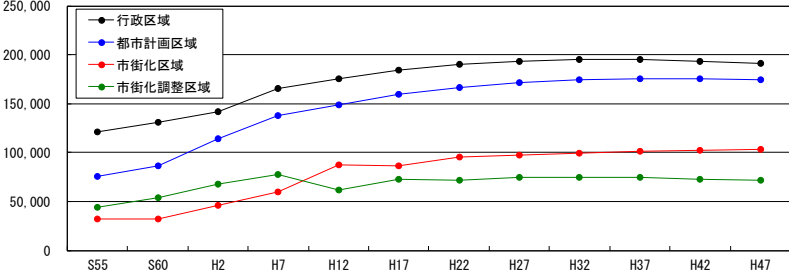
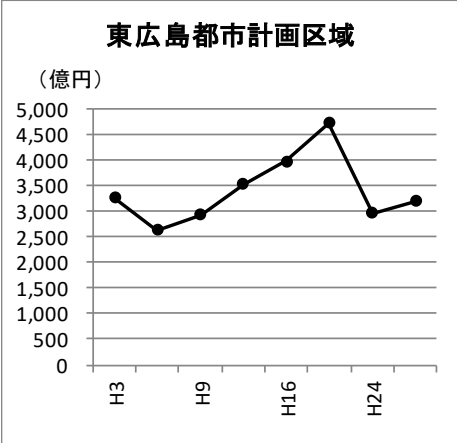
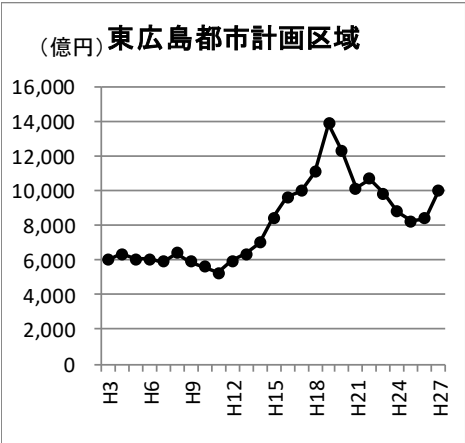
- 過去10年間、当該都市計画区域（又は市町村）の人口が連続して減少していること
- 当該都市計画区域（又は市町村）内で、地域の社会・経済に大きな影響を及ぼす産業振興等に係る計画の策定又は大規模プロジェクト等の実施が行われておらず、その予定もないこと

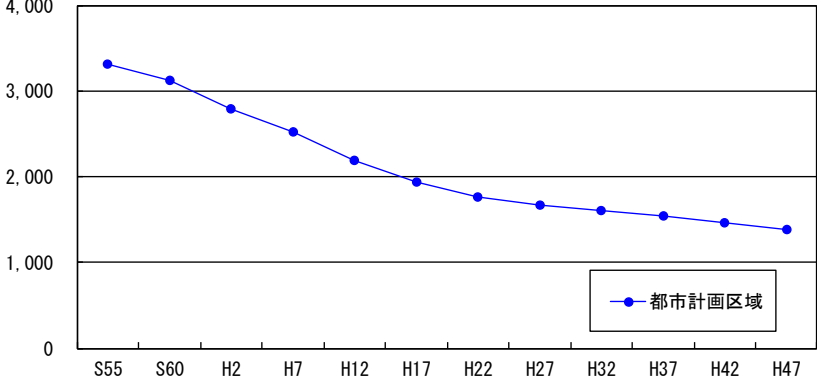
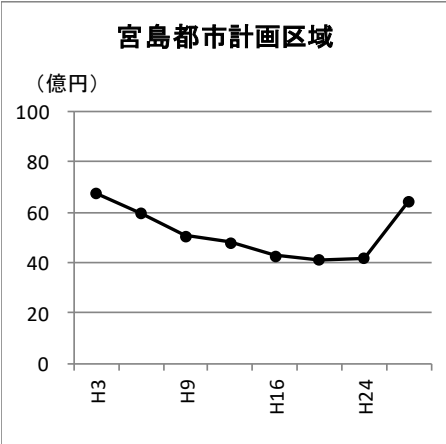
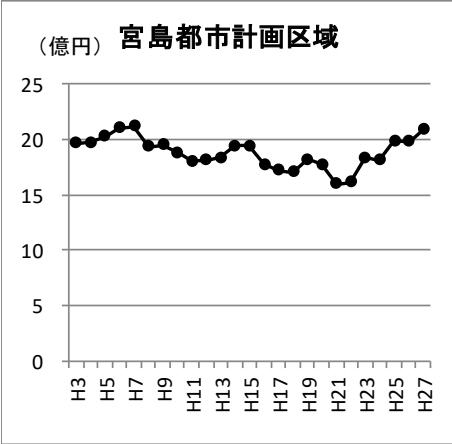


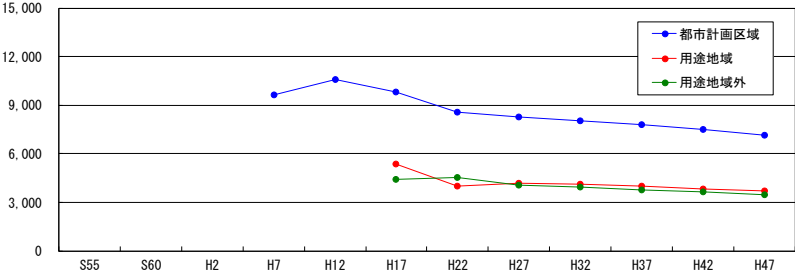
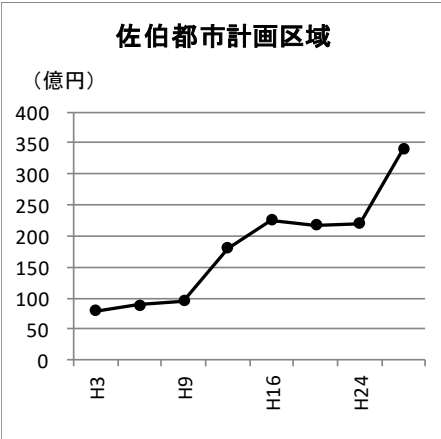
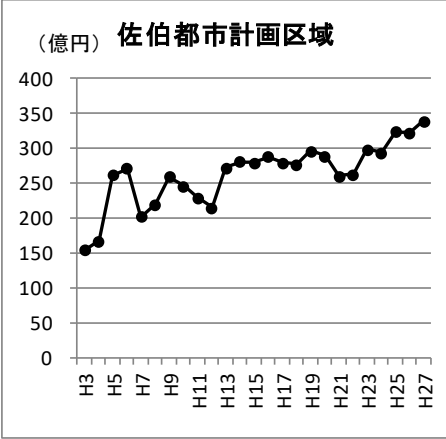
4-2 各都市計画区域の区域区分の有無

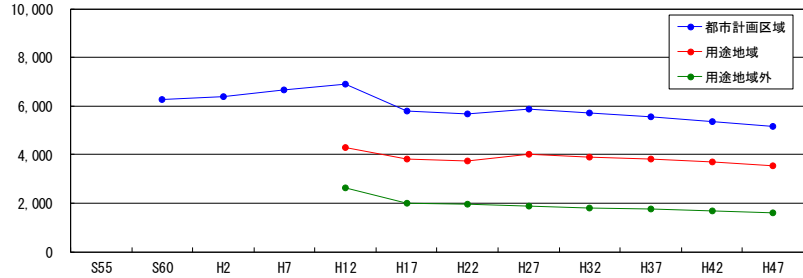
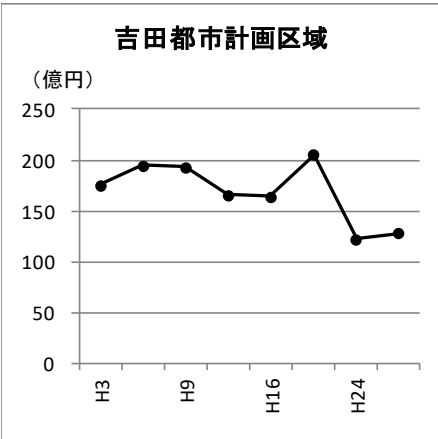
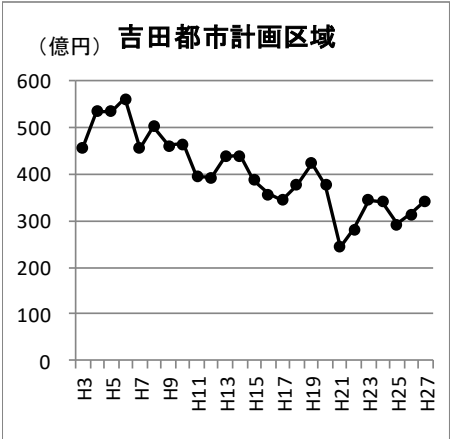
(1) 広島圏域の都市計画区域

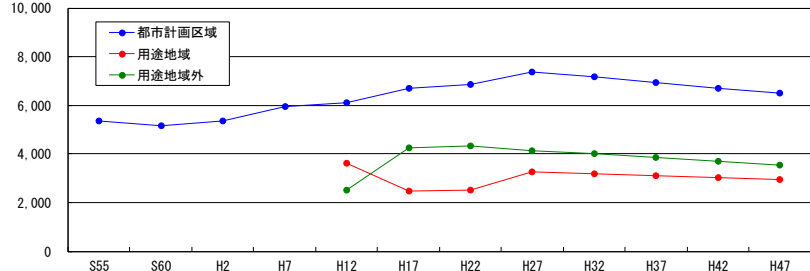
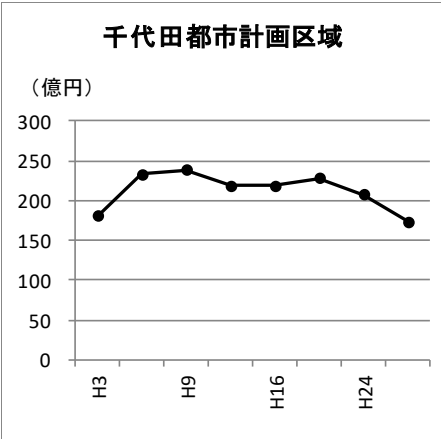
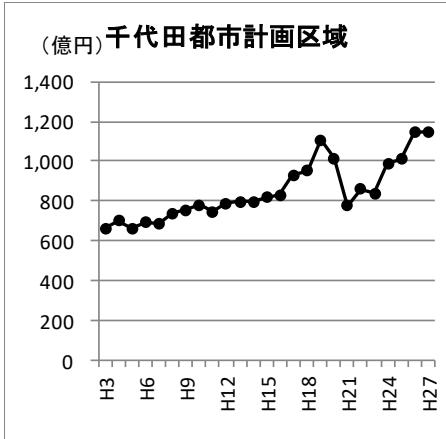
名称	広島圏都市計画区域
区域区分の設定の状況	区域区分あり
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <p>②商品販売額 (億円)</p>  <p>③工業品出荷額等 (億円)</p>  <p>③開発動向等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島高速道路整備、ひろしま西風新都の建設、都市再生緊急整備地域（広島紙屋町・八丁堀地域）の指定、大竹駅周辺整備 等
区域区分の有無と理由	<p>本区域は、政令指定都市である広島市を含む広域都市計画区域であるため、都市計画法（都市計画法第7条（都市計画法施行令第3条））において、線引き都市計画区域が引き続いて指定されることになっている。</p> <p>また、人口は平成27年をピークに減少に転じると予測されるが、広島高速道路やひろしま西風新都の建設などの大規模プロジェクトが数多く推進されていることから、区域区分の廃止を検討するための基本的な基準を充たしていない。</p> <p>さらに、廃止を行うと市街化調整区域であった地域において乱開発の恐れがあり、都市構造の激変が考えられることから、廃止する場合の要件等をも充たしていない。</p> <p>したがって、市街地の整序を図るために、引き続き区域区分を維持する。</p>

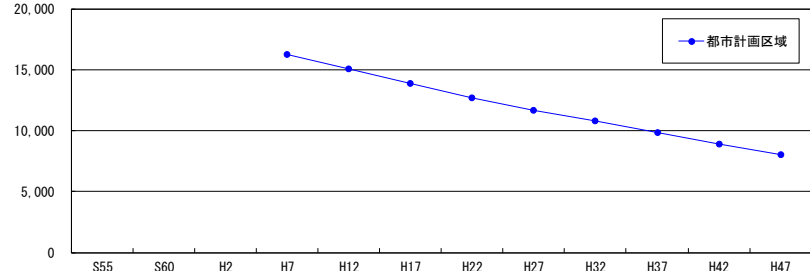
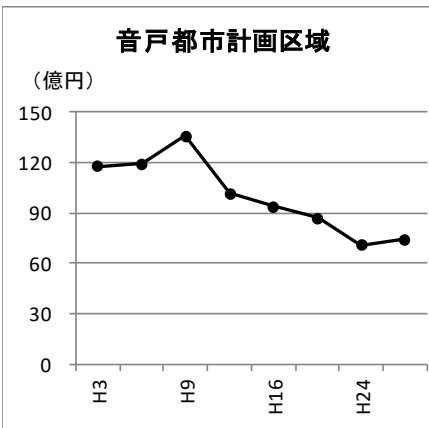
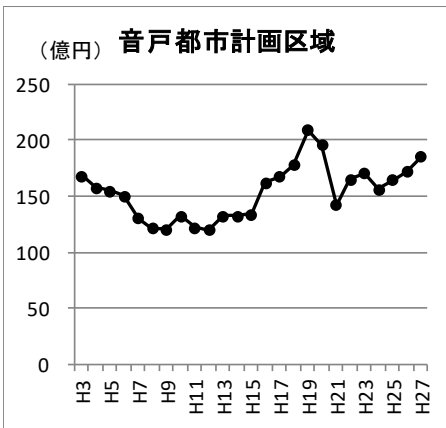
名称	東広島都市計画区域
区域区分の設定の状況	区域区分あり
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <p>②商品販売額</p> <p>東広島都市計画区域 (億円)</p>  <p>③工業品出荷額等</p> <p>(億円) 東広島都市計画区域</p>  <p>③開発動向等</p> <p>東広島・安芸バイパス、</p>
区域区分の有無と理由	<p>本区域は現在、区域区分を設定しています。</p> <p>本区域の平成27年の市街化区域内人口は96,849人であり、今後も、概ね横ばいで推移すると予測されている。</p> <p>商品販売額、製造品出荷額等とも、平成19年をピークに一時減少傾向にあったが、近年はやや持ち直しの傾向もみられる。</p> <p>また、本都市計画区域には、東広島・安芸バイパス整備など、今後地域の社会・経済に大きな影響を及ぼすと考えられる計画があり市街地拡大の可能性が高いと考えられる。</p> <p>これらのことから、市街地の整序を図るため、区域区分を維持する。</p>

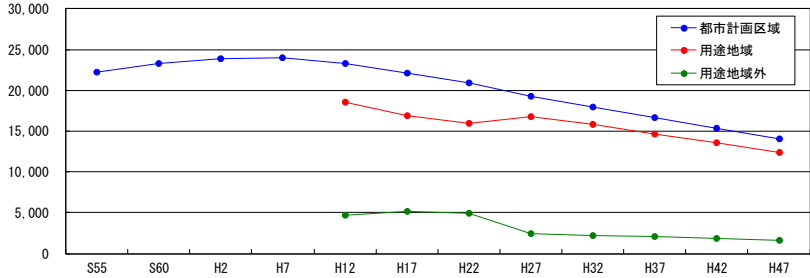
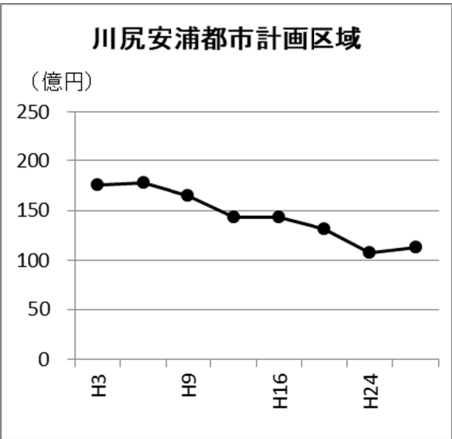
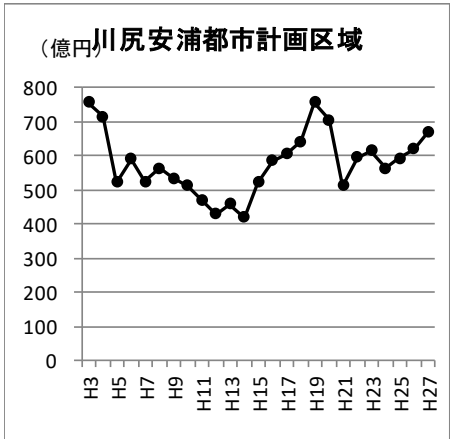
名称	宮島都市計画区域																																																																
区域区分の設定の状況	区域区分なし																																																																
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	同一市内（廿日市市）に広島圏都市計画区域が存在するが、海を隔てており隣接していない。																																																																
将来動向 （成長性・市街地の拡大の可能性）	<p>①都市計画区域人口</p>  <table border="1"> <caption>①都市計画区域人口</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>S55</td><td>3,300</td></tr> <tr><td>S60</td><td>3,100</td></tr> <tr><td>H2</td><td>2,800</td></tr> <tr><td>H7</td><td>2,500</td></tr> <tr><td>H12</td><td>2,200</td></tr> <tr><td>H17</td><td>1,944</td></tr> <tr><td>H22</td><td>1,800</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,700</td></tr> <tr><td>H32</td><td>1,650</td></tr> <tr><td>H37</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>H42</td><td>1,550</td></tr> <tr><td>H47</td><td>1,400</td></tr> </tbody> </table> <p>②商品販売額</p>  <table border="1"> <caption>②商品販売額</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>商品販売額 (億円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>68</td></tr> <tr><td>H9</td><td>50</td></tr> <tr><td>H16</td><td>42</td></tr> <tr><td>H24</td><td>65</td></tr> </tbody> </table> <p>③工業品出荷額等</p>  <table border="1"> <caption>③工業品出荷額等</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>工業品出荷額等 (億円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>20</td></tr> <tr><td>H5</td><td>21</td></tr> <tr><td>H7</td><td>22</td></tr> <tr><td>H9</td><td>20</td></tr> <tr><td>H11</td><td>18</td></tr> <tr><td>H13</td><td>19</td></tr> <tr><td>H15</td><td>20</td></tr> <tr><td>H17</td><td>17</td></tr> <tr><td>H19</td><td>18</td></tr> <tr><td>H21</td><td>16</td></tr> <tr><td>H23</td><td>18</td></tr> <tr><td>H25</td><td>20</td></tr> <tr><td>H27</td><td>21</td></tr> </tbody> </table>	年	人口	S55	3,300	S60	3,100	H2	2,800	H7	2,500	H12	2,200	H17	1,944	H22	1,800	H27	1,700	H32	1,650	H37	1,600	H42	1,550	H47	1,400	年	商品販売額 (億円)	H3	68	H9	50	H16	42	H24	65	年	工業品出荷額等 (億円)	H3	20	H5	21	H7	22	H9	20	H11	18	H13	19	H15	20	H17	17	H19	18	H21	16	H23	18	H25	20	H27	21
年	人口																																																																
S55	3,300																																																																
S60	3,100																																																																
H2	2,800																																																																
H7	2,500																																																																
H12	2,200																																																																
H17	1,944																																																																
H22	1,800																																																																
H27	1,700																																																																
H32	1,650																																																																
H37	1,600																																																																
H42	1,550																																																																
H47	1,400																																																																
年	商品販売額 (億円)																																																																
H3	68																																																																
H9	50																																																																
H16	42																																																																
H24	65																																																																
年	工業品出荷額等 (億円)																																																																
H3	20																																																																
H5	21																																																																
H7	22																																																																
H9	20																																																																
H11	18																																																																
H13	19																																																																
H15	20																																																																
H17	17																																																																
H19	18																																																																
H21	16																																																																
H23	18																																																																
H25	20																																																																
H27	21																																																																
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分は定められておらず，平成27年の都市計画区域人口は1,674人であり，平成17年の1,944人から270人減少しており，将来人口は引き続き減少することが予測される。</p> <p>産業分野では，商品販売額，製造品出荷額等とも近年は増加傾向に転じているが，過去の実績値を大きく上回るものではない。</p> <p>以上より，総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>本区域は，全域特別史跡，国立公園，風致地区等の他法令により土地利用の規制がなされていることから，本都市計画区域は区域区分を定めない。</p>																																																																

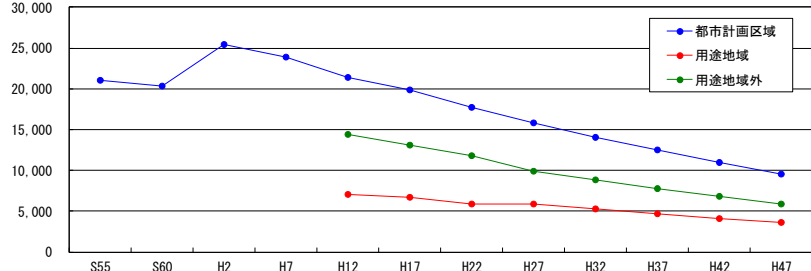
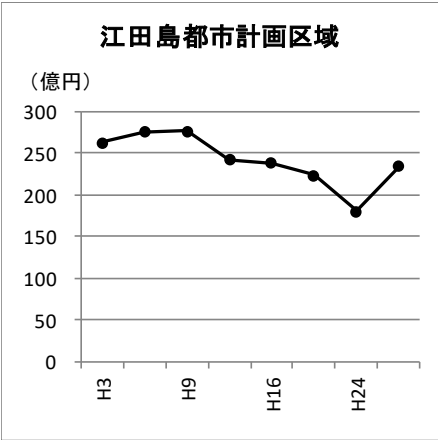
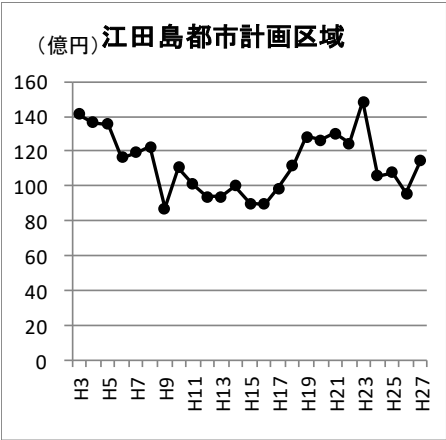
名称	佐伯都市計画区域																																																																																														
区域区分の設定の状況	区域区分なし																																																																																														
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	同一市内（廿日市市）に広島圏都市計画区域が存在するが、隣接していない。																																																																																														
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <table border="1"> <caption>①都市計画区域人口 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>都市計画区域</th> <th>用途地域</th> <th>用途地域外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>S55</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>S60</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H7</td><td>10,581</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H12</td><td>10,581</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H17</td><td>9,800</td><td>5,500</td><td>4,500</td></tr> <tr><td>H22</td><td>8,244</td><td>4,500</td><td>4,500</td></tr> <tr><td>H27</td><td>8,000</td><td>4,500</td><td>4,500</td></tr> <tr><td>H32</td><td>7,800</td><td>4,500</td><td>4,500</td></tr> <tr><td>H37</td><td>7,600</td><td>4,500</td><td>4,500</td></tr> <tr><td>H42</td><td>7,400</td><td>4,500</td><td>4,500</td></tr> <tr><td>H47</td><td>7,200</td><td>4,500</td><td>4,500</td></tr> </tbody> </table> <p>②商品販売額</p>  <table border="1"> <caption>②商品販売額 (佐伯都市計画区域) (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>商品販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>80</td></tr> <tr><td>H5</td><td>90</td></tr> <tr><td>H9</td><td>100</td></tr> <tr><td>H16</td><td>230</td></tr> <tr><td>H24</td><td>220</td></tr> <tr><td>H24</td><td>340</td></tr> </tbody> </table> <p>③工業品出荷額等</p>  <table border="1"> <caption>③工業品出荷額等 (佐伯都市計画区域) (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>工業品出荷額等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>150</td></tr> <tr><td>H5</td><td>260</td></tr> <tr><td>H7</td><td>200</td></tr> <tr><td>H9</td><td>260</td></tr> <tr><td>H11</td><td>230</td></tr> <tr><td>H13</td><td>270</td></tr> <tr><td>H15</td><td>280</td></tr> <tr><td>H17</td><td>270</td></tr> <tr><td>H19</td><td>290</td></tr> <tr><td>H21</td><td>260</td></tr> <tr><td>H23</td><td>290</td></tr> <tr><td>H25</td><td>320</td></tr> <tr><td>H27</td><td>340</td></tr> </tbody> </table>	年	都市計画区域	用途地域	用途地域外	S55				S60				H2				H7	10,581			H12	10,581			H17	9,800	5,500	4,500	H22	8,244	4,500	4,500	H27	8,000	4,500	4,500	H32	7,800	4,500	4,500	H37	7,600	4,500	4,500	H42	7,400	4,500	4,500	H47	7,200	4,500	4,500	年	商品販売額	H3	80	H5	90	H9	100	H16	230	H24	220	H24	340	年	工業品出荷額等	H3	150	H5	260	H7	200	H9	260	H11	230	H13	270	H15	280	H17	270	H19	290	H21	260	H23	290	H25	320	H27	340
年	都市計画区域	用途地域	用途地域外																																																																																												
S55																																																																																															
S60																																																																																															
H2																																																																																															
H7	10,581																																																																																														
H12	10,581																																																																																														
H17	9,800	5,500	4,500																																																																																												
H22	8,244	4,500	4,500																																																																																												
H27	8,000	4,500	4,500																																																																																												
H32	7,800	4,500	4,500																																																																																												
H37	7,600	4,500	4,500																																																																																												
H42	7,400	4,500	4,500																																																																																												
H47	7,200	4,500	4,500																																																																																												
年	商品販売額																																																																																														
H3	80																																																																																														
H5	90																																																																																														
H9	100																																																																																														
H16	230																																																																																														
H24	220																																																																																														
H24	340																																																																																														
年	工業品出荷額等																																																																																														
H3	150																																																																																														
H5	260																																																																																														
H7	200																																																																																														
H9	260																																																																																														
H11	230																																																																																														
H13	270																																																																																														
H15	280																																																																																														
H17	270																																																																																														
H19	290																																																																																														
H21	260																																																																																														
H23	290																																																																																														
H25	320																																																																																														
H27	340																																																																																														
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分は定められておらず，平成27年の都市計画区域人口は8,244人であり，平成12年の10,581人をピークに減少に転じており，将来人口は減少することが予測される。</p> <p>産業分野においては，製造品出荷額等及び商品販売額ともに増加傾向にある。</p> <p>以上より，総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>そこで，土地利用制限を課す区域区分ではなく，用途地域等により土地利用規制を行うことが望ましいと考えられることから，本都市計画区域は区域区分を定めない。</p>																																																																																														

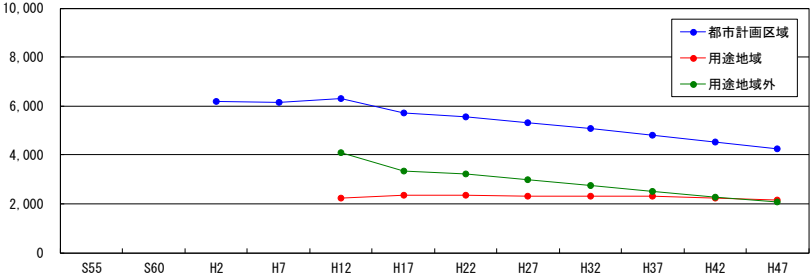
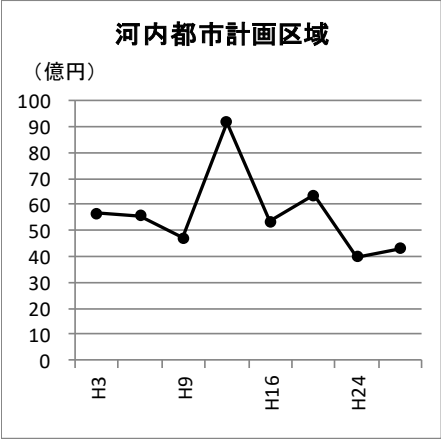
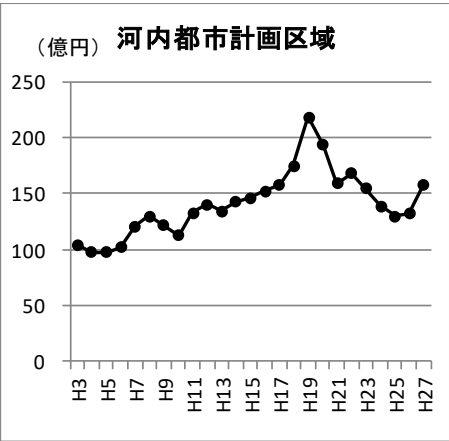
名称	吉田都市計画区域
区域区分の設定の状況	区域区分なし
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	区域区分を設定している都市計画区域とは隣接していない。
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <p>②商品販売額</p>  <p>③工業品出荷額等</p> 
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分が定められておらず、平成27年の都市計画区域人口は5,876人であり、平成17年の5,803人から微増となっているが、将来的には減少することが予測される。</p> <p>産業分野では、製造品出荷額等は減少傾向となっており、今後ともこの傾向が続くと推測される。</p> <p>以上より、総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>そこで、土地利用制限を課す区域区分ではなく、用途地域等により土地利用規制を行うことが望ましいと考えられることから、本都市計画区域は区域区分を定めない。</p>

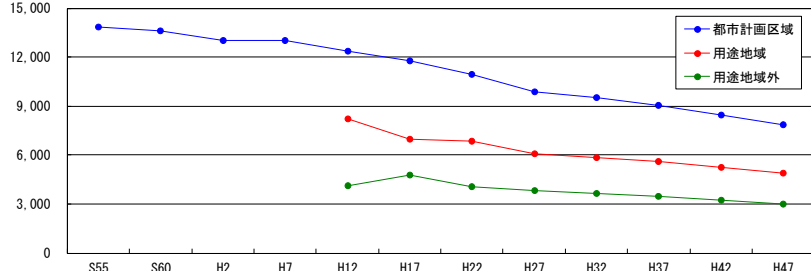
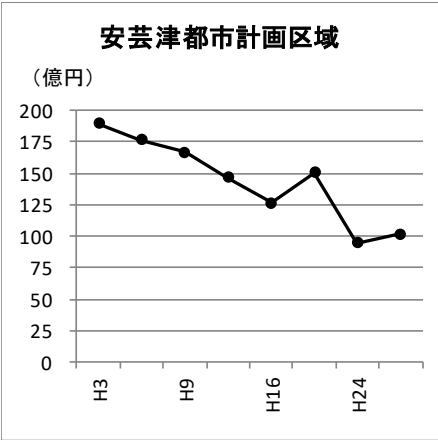
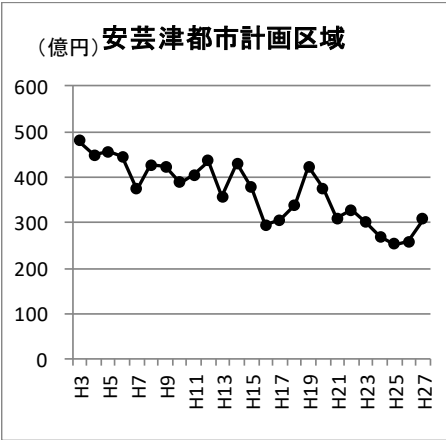
名称	千代田都市計画区域
区域区分の設定の状況	区域区分なし
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	区域区分を設定している都市計画区域とは隣接していない。
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <p>②商品販売額</p>  <p>③工業品出荷額等</p> 
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分が定められておらず、平成27年の都市計画区域人口は7,391人であり、平成17年の6,707人から約700人増加しているが、令和12年には少子高齢化の進展に伴い減少することが予測される。</p> <p>産業分野においては、製造品出荷額等は増加傾向にあるものの、商品販売額は減少傾向であり、将来的な推移も概ねこの傾向が続くと推測される。</p> <p>以上より、総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>そこで、土地利用制限を課す区域区分ではなく、用途地域等により土地利用規制を行うことが望ましいと考えられることから、本都市計画区域は区域区分を定めない。</p>

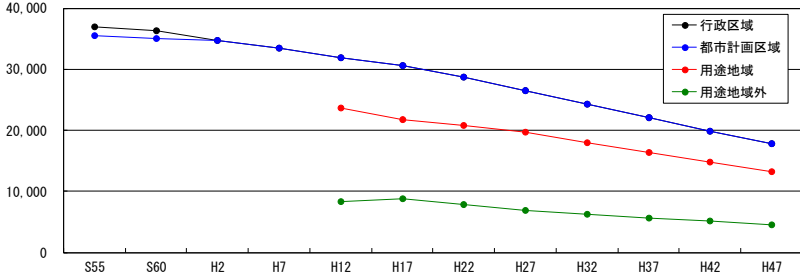
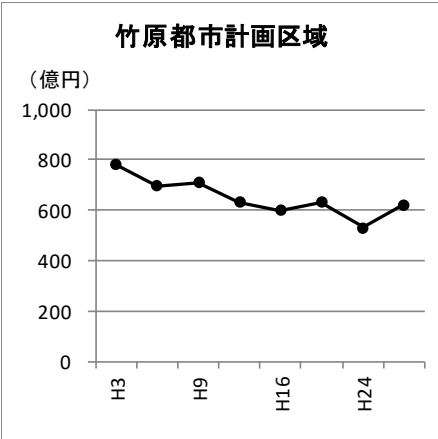
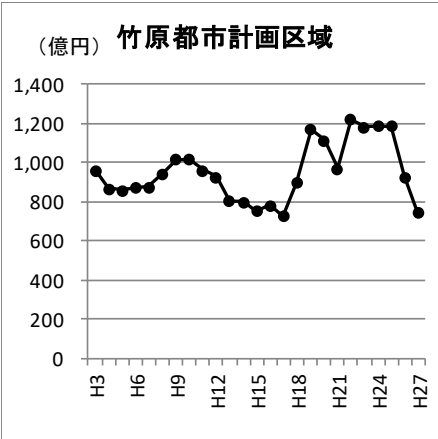
名称	音戸都市計画区域																																																										
区域区分の設定の状況	区域区分なし																																																										
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	同一市内（呉市）に広島圏都市計画区域が存在し、架橋により密接な関係があると考えられる。																																																										
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <table border="1"> <caption>①都市計画区域人口</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H7</td><td>16,500</td></tr> <tr><td>H12</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>H17</td><td>14,000</td></tr> <tr><td>H22</td><td>13,000</td></tr> <tr><td>H27</td><td>12,000</td></tr> <tr><td>H32</td><td>11,000</td></tr> <tr><td>H37</td><td>10,000</td></tr> <tr><td>H42</td><td>9,000</td></tr> <tr><td>H47</td><td>8,000</td></tr> </tbody> </table> <p>②商品販売額</p>  <table border="1"> <caption>②商品販売額 (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>120</td></tr> <tr><td>H9</td><td>140</td></tr> <tr><td>H16</td><td>95</td></tr> <tr><td>H24</td><td>75</td></tr> </tbody> </table> <p>③工業品出荷額等</p>  <table border="1"> <caption>③工業品出荷額等 (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>出荷額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>170</td></tr> <tr><td>H5</td><td>160</td></tr> <tr><td>H7</td><td>130</td></tr> <tr><td>H9</td><td>120</td></tr> <tr><td>H11</td><td>130</td></tr> <tr><td>H13</td><td>130</td></tr> <tr><td>H15</td><td>140</td></tr> <tr><td>H17</td><td>170</td></tr> <tr><td>H19</td><td>210</td></tr> <tr><td>H21</td><td>140</td></tr> <tr><td>H23</td><td>170</td></tr> <tr><td>H25</td><td>160</td></tr> <tr><td>H27</td><td>190</td></tr> </tbody> </table>	年	人口	H7	16,500	H12	15,000	H17	14,000	H22	13,000	H27	12,000	H32	11,000	H37	10,000	H42	9,000	H47	8,000	年	販売額	H3	120	H9	140	H16	95	H24	75	年	出荷額	H3	170	H5	160	H7	130	H9	120	H11	130	H13	130	H15	140	H17	170	H19	210	H21	140	H23	170	H25	160	H27	190
年	人口																																																										
H7	16,500																																																										
H12	15,000																																																										
H17	14,000																																																										
H22	13,000																																																										
H27	12,000																																																										
H32	11,000																																																										
H37	10,000																																																										
H42	9,000																																																										
H47	8,000																																																										
年	販売額																																																										
H3	120																																																										
H9	140																																																										
H16	95																																																										
H24	75																																																										
年	出荷額																																																										
H3	170																																																										
H5	160																																																										
H7	130																																																										
H9	120																																																										
H11	130																																																										
H13	130																																																										
H15	140																																																										
H17	170																																																										
H19	210																																																										
H21	140																																																										
H23	170																																																										
H25	160																																																										
H27	190																																																										
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分は定められておらず、平成27年の都市計画区域人口は11,653人で、平成17年の13,895人から約2,250人減少しており、将来的にも人口は減少することが予測される。</p> <p>産業分野では、商品販売額は継続的な減少傾向にある。製造品出荷額等は近年増加傾向であるが、過去の実績値を大きく上回るものではない。</p> <p>以上より、総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>そこで、土地利用制限を課す区域区分ではなく、用途地域等により土地利用規制を行うことが望ましいと考えられることから、本都市計画区域は区域区分を定めない。</p>																																																										

名称	川尻安浦都市計画区域
区域区分の設定の状況	区域区分なし
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	広島圏都市計画区域及び東広島都市計画区域に隣接している。
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <p>②商品販売額</p>  <p>③工業品出荷額等</p> 
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分は定められておらず，平成27年の都市計画区域人口は19,220人で，平成17年の22,070人から2,850人減少しており，将来的にも人口は減少することが予測される。</p> <p>産業分野では，商品販売額は継続的な減少傾向にある。製造品出荷額等は近年増加傾向であるが，過去の実績値を大きく上回るものではない。</p> <p>以上より，総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>そこで，土地利用制限を課す区域区分ではなく，用途地域等により土地利用規制を行うことが望ましいと考えられることから，本都市計画区域は区域区分を定めない。</p>

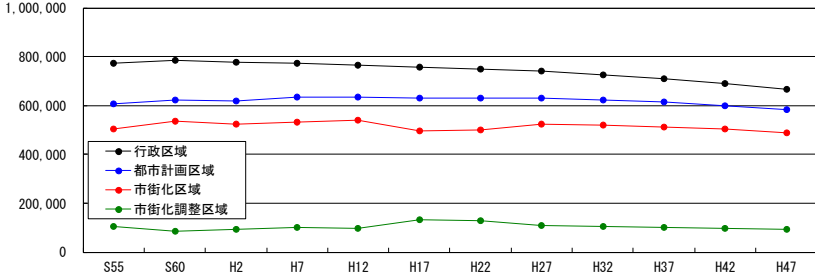
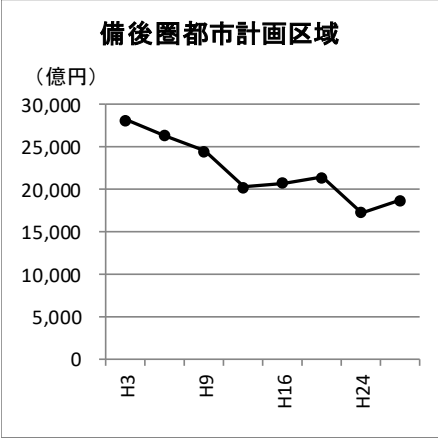
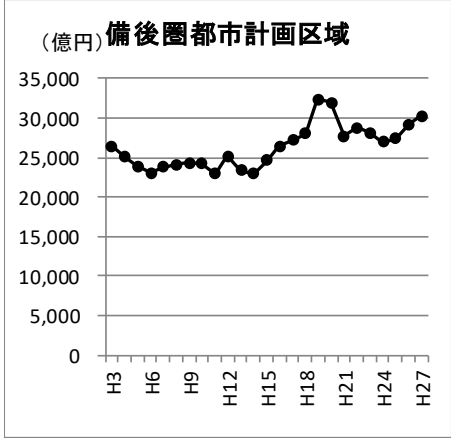
名称	江田島都市計画区域
区域区分の設定の状況	区域区分なし
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	区域区分を設定している都市計画区域とは隣接していない。
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <p>②商品販売額</p>  <p>③工業品出荷額等</p> 
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分は定められておらず，平成27年の都市計画区域人口は15,783人で，平成17年の19,835人から約4,050人減少しており，将来的にも人口は減少することが予測される。</p> <p>また，産業分野では，製造品出荷額等，商品販売額とも直近年では前年から増加しているものの，全体としては減少傾向であり，今後ともこの傾向が続くものと推測される。</p> <p>以上より，総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>そこで，土地利用制限を課す区域区分ではなく，用途地域等により土地利用規制を行うことが望ましいと考えられることから，本都市計画区域は区域区分を定めない。</p>

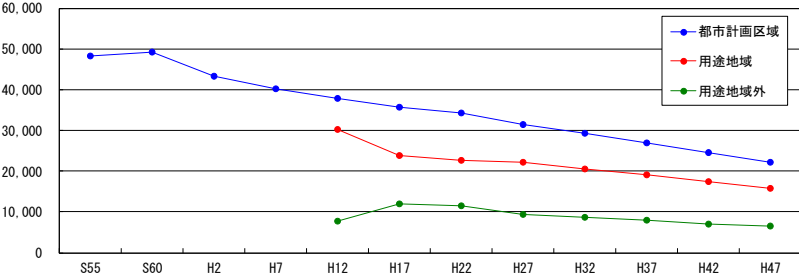
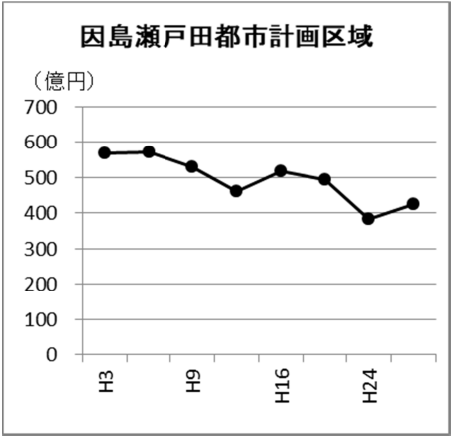
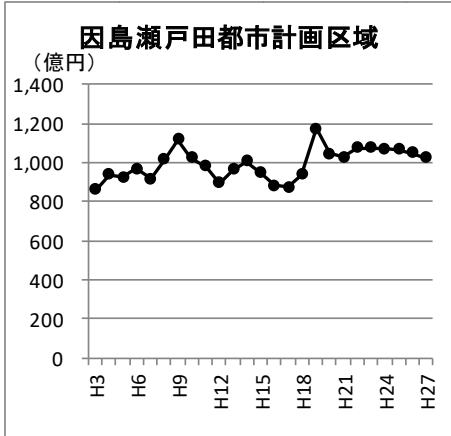
名称	河内都市計画区域																																																																																												
区域区分の設定の状況	区域区分なし																																																																																												
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	同一市内（東広島市）に東広島都市計画区域が存在し、かつ隣接する。																																																																																												
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <table border="1"> <caption>①都市計画区域人口 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>都市計画区域</th> <th>用途地域</th> <th>用途地域外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H2</td><td>6,200</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H7</td><td>6,100</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H12</td><td>6,300</td><td>2,300</td><td>4,100</td></tr> <tr><td>H17</td><td>5,800</td><td>2,400</td><td>3,400</td></tr> <tr><td>H22</td><td>5,600</td><td>2,400</td><td>3,200</td></tr> <tr><td>H27</td><td>5,400</td><td>2,400</td><td>3,000</td></tr> <tr><td>H32</td><td>5,100</td><td>2,400</td><td>2,800</td></tr> <tr><td>H37</td><td>4,800</td><td>2,400</td><td>2,600</td></tr> <tr><td>H42</td><td>4,500</td><td>2,300</td><td>2,400</td></tr> <tr><td>H47</td><td>4,200</td><td>2,200</td><td>2,200</td></tr> </tbody> </table> <p>②商品販売額</p>  <table border="1"> <caption>②商品販売額 (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>商品販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>58</td></tr> <tr><td>H5</td><td>58</td></tr> <tr><td>H7</td><td>55</td></tr> <tr><td>H9</td><td>48</td></tr> <tr><td>H11</td><td>92</td></tr> <tr><td>H13</td><td>55</td></tr> <tr><td>H15</td><td>65</td></tr> <tr><td>H17</td><td>42</td></tr> <tr><td>H19</td><td>45</td></tr> </tbody> </table> <p>③工業品出荷額等</p>  <table border="1"> <caption>③工業品出荷額等 (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>工業品出荷額等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>105</td></tr> <tr><td>H5</td><td>100</td></tr> <tr><td>H7</td><td>125</td></tr> <tr><td>H9</td><td>130</td></tr> <tr><td>H11</td><td>120</td></tr> <tr><td>H13</td><td>140</td></tr> <tr><td>H15</td><td>145</td></tr> <tr><td>H17</td><td>155</td></tr> <tr><td>H19</td><td>220</td></tr> <tr><td>H21</td><td>160</td></tr> <tr><td>H23</td><td>155</td></tr> <tr><td>H25</td><td>135</td></tr> <tr><td>H27</td><td>160</td></tr> </tbody> </table>	年	都市計画区域	用途地域	用途地域外	H2	6,200	-	-	H7	6,100	-	-	H12	6,300	2,300	4,100	H17	5,800	2,400	3,400	H22	5,600	2,400	3,200	H27	5,400	2,400	3,000	H32	5,100	2,400	2,800	H37	4,800	2,400	2,600	H42	4,500	2,300	2,400	H47	4,200	2,200	2,200	年	商品販売額	H3	58	H5	58	H7	55	H9	48	H11	92	H13	55	H15	65	H17	42	H19	45	年	工業品出荷額等	H3	105	H5	100	H7	125	H9	130	H11	120	H13	140	H15	145	H17	155	H19	220	H21	160	H23	155	H25	135	H27	160
年	都市計画区域	用途地域	用途地域外																																																																																										
H2	6,200	-	-																																																																																										
H7	6,100	-	-																																																																																										
H12	6,300	2,300	4,100																																																																																										
H17	5,800	2,400	3,400																																																																																										
H22	5,600	2,400	3,200																																																																																										
H27	5,400	2,400	3,000																																																																																										
H32	5,100	2,400	2,800																																																																																										
H37	4,800	2,400	2,600																																																																																										
H42	4,500	2,300	2,400																																																																																										
H47	4,200	2,200	2,200																																																																																										
年	商品販売額																																																																																												
H3	58																																																																																												
H5	58																																																																																												
H7	55																																																																																												
H9	48																																																																																												
H11	92																																																																																												
H13	55																																																																																												
H15	65																																																																																												
H17	42																																																																																												
H19	45																																																																																												
年	工業品出荷額等																																																																																												
H3	105																																																																																												
H5	100																																																																																												
H7	125																																																																																												
H9	130																																																																																												
H11	120																																																																																												
H13	140																																																																																												
H15	145																																																																																												
H17	155																																																																																												
H19	220																																																																																												
H21	160																																																																																												
H23	155																																																																																												
H25	135																																																																																												
H27	160																																																																																												
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分が定められておらず，平成27年の都市計画区域人口は5,320人で，平成17年の5,696人から約370人減少しており，将来的にも減少することが予測される。</p> <p>また，産業分野では，製造品出荷額等，商品販売額とも直近年では前年から増加しているものの，全体としては減少傾向であり，今後ともこの傾向が続くものと推測される。</p> <p>以上より，総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>そこで，土地利用制限を課す区域区分ではなく，用途地域等により土地利用規制を行うことが望ましいと考えられることから，本都市計画区域は区域区分を定めない。</p>																																																																																												

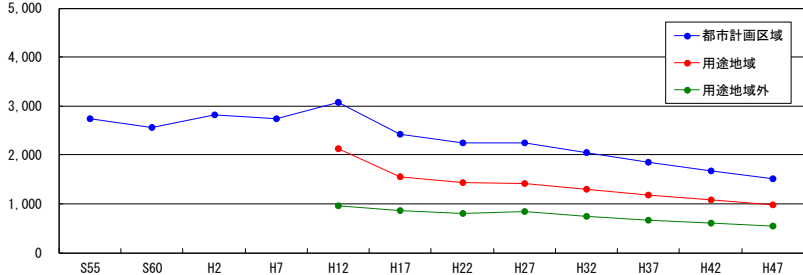
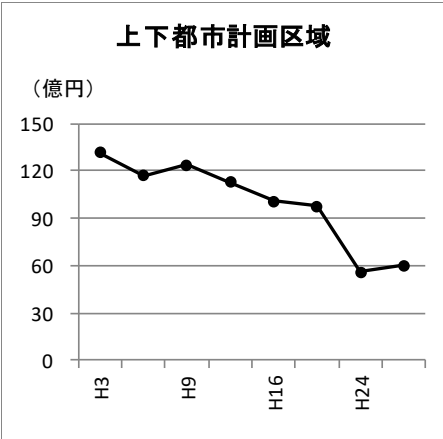
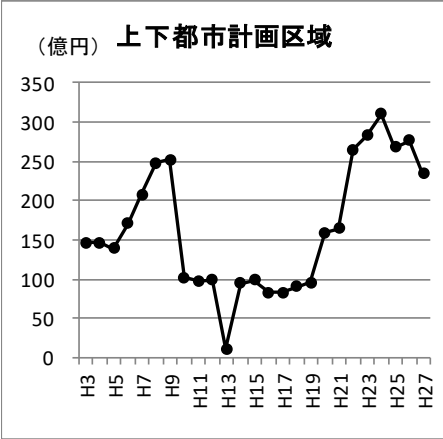
名称	安芸津都市計画区域
区域区分の設定の状況	区域区分なし
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	同一市内（東広島市）に東広島都市計画区域が存在し、かつ隣接する。
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <p>②商品販売額</p>  <p>③工業品出荷額等</p> 
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分が定められておらず、平成27年の都市計画区域内の人口は9,880人で、平成17年の11,747人から約1,850人減少しており、将来的にも減少することが予測される。</p> <p>また、産業分野では、製造品出荷額等、商品販売額とも直近年では前年から増加しているものの、全体としては減少傾向であり、今後ともこの傾向が続くものと推測される。</p> <p>以上より、総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>そこで、土地利用制限を課す区域区分ではなく、用途地域等により土地利用規制を行うことが望ましいと考えられることから、本都市計画区域は区域区分を定めない。</p>

名称	竹原都市計画区域																																																																																																							
区域区分の設定の状況	区域区分なし																																																																																																							
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	東広島都市計画区域に隣接している。																																																																																																							
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <table border="1"> <caption>①都市計画区域人口 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>行政区域</th> <th>都市計画区域</th> <th>用途地域</th> <th>用途地域外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>S55</td><td>38,000</td><td>36,000</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>S60</td><td>37,000</td><td>35,000</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H2</td><td>35,000</td><td>34,000</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H7</td><td>34,000</td><td>33,000</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H12</td><td>32,000</td><td>31,000</td><td>24,000</td><td>8,000</td></tr> <tr><td>H17</td><td>30,000</td><td>29,000</td><td>22,000</td><td>9,000</td></tr> <tr><td>H22</td><td>28,000</td><td>27,000</td><td>21,000</td><td>8,000</td></tr> <tr><td>H27</td><td>26,000</td><td>25,000</td><td>20,000</td><td>7,000</td></tr> <tr><td>H32</td><td>24,000</td><td>23,000</td><td>18,000</td><td>6,000</td></tr> <tr><td>H37</td><td>22,000</td><td>21,000</td><td>17,000</td><td>5,000</td></tr> <tr><td>H42</td><td>20,000</td><td>19,000</td><td>15,000</td><td>5,000</td></tr> <tr><td>H47</td><td>18,000</td><td>17,000</td><td>14,000</td><td>4,000</td></tr> </tbody> </table> <p>②商品販売額</p>  <table border="1"> <caption>②商品販売額 (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>商品販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>800</td></tr> <tr><td>H6</td><td>700</td></tr> <tr><td>H9</td><td>720</td></tr> <tr><td>H12</td><td>650</td></tr> <tr><td>H15</td><td>600</td></tr> <tr><td>H18</td><td>650</td></tr> <tr><td>H21</td><td>550</td></tr> <tr><td>H24</td><td>620</td></tr> </tbody> </table> <p>③工業品出荷額等</p>  <table border="1"> <caption>③工業品出荷額等 (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>工業品出荷額等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>950</td></tr> <tr><td>H6</td><td>850</td></tr> <tr><td>H9</td><td>1000</td></tr> <tr><td>H12</td><td>900</td></tr> <tr><td>H15</td><td>750</td></tr> <tr><td>H18</td><td>700</td></tr> <tr><td>H21</td><td>1200</td></tr> <tr><td>H24</td><td>1200</td></tr> <tr><td>H27</td><td>750</td></tr> </tbody> </table>	年	行政区域	都市計画区域	用途地域	用途地域外	S55	38,000	36,000	-	-	S60	37,000	35,000	-	-	H2	35,000	34,000	-	-	H7	34,000	33,000	-	-	H12	32,000	31,000	24,000	8,000	H17	30,000	29,000	22,000	9,000	H22	28,000	27,000	21,000	8,000	H27	26,000	25,000	20,000	7,000	H32	24,000	23,000	18,000	6,000	H37	22,000	21,000	17,000	5,000	H42	20,000	19,000	15,000	5,000	H47	18,000	17,000	14,000	4,000	年	商品販売額	H3	800	H6	700	H9	720	H12	650	H15	600	H18	650	H21	550	H24	620	年	工業品出荷額等	H3	950	H6	850	H9	1000	H12	900	H15	750	H18	700	H21	1200	H24	1200	H27	750
年	行政区域	都市計画区域	用途地域	用途地域外																																																																																																				
S55	38,000	36,000	-	-																																																																																																				
S60	37,000	35,000	-	-																																																																																																				
H2	35,000	34,000	-	-																																																																																																				
H7	34,000	33,000	-	-																																																																																																				
H12	32,000	31,000	24,000	8,000																																																																																																				
H17	30,000	29,000	22,000	9,000																																																																																																				
H22	28,000	27,000	21,000	8,000																																																																																																				
H27	26,000	25,000	20,000	7,000																																																																																																				
H32	24,000	23,000	18,000	6,000																																																																																																				
H37	22,000	21,000	17,000	5,000																																																																																																				
H42	20,000	19,000	15,000	5,000																																																																																																				
H47	18,000	17,000	14,000	4,000																																																																																																				
年	商品販売額																																																																																																							
H3	800																																																																																																							
H6	700																																																																																																							
H9	720																																																																																																							
H12	650																																																																																																							
H15	600																																																																																																							
H18	650																																																																																																							
H21	550																																																																																																							
H24	620																																																																																																							
年	工業品出荷額等																																																																																																							
H3	950																																																																																																							
H6	850																																																																																																							
H9	1000																																																																																																							
H12	900																																																																																																							
H15	750																																																																																																							
H18	700																																																																																																							
H21	1200																																																																																																							
H24	1200																																																																																																							
H27	750																																																																																																							
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分が定められておらず、平成27年の都市計画区域内の人口は26,426人で、平成17年の30,657人から約4,200人減少しており、将来的にも減少することが予測されます。</p> <p>また、産業分野では、製造品出荷額等、商品販売額とも減少傾向にあり、今後ともこの傾向が続くと推測される。</p> <p>以上より、総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>そこで、土地利用制限を課す区域区分ではなく、用途地域等により土地利用規制を行うことが望ましいと考えられることから、本都市計画区域は区域区分を定めない。</p>																																																																																																							

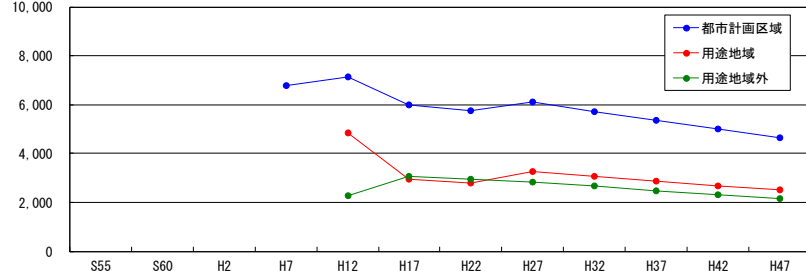
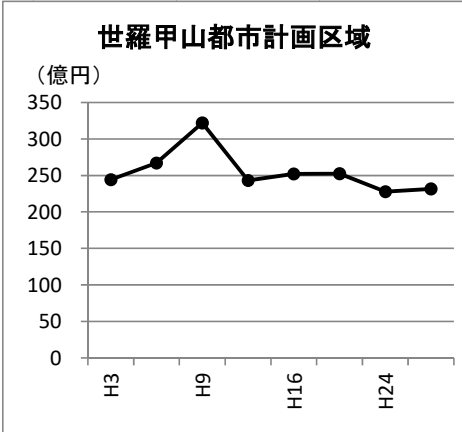
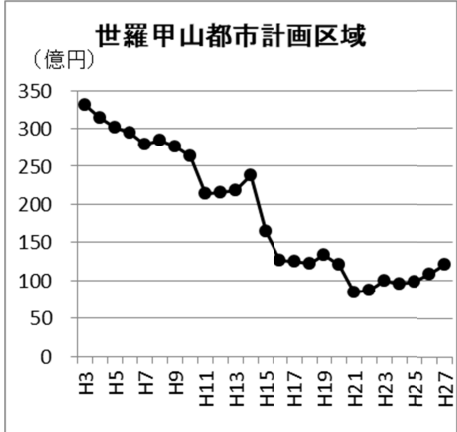
(2) 備後圏域の都市計画区域

<p>名称</p>	<p>備後圏都市計画区域</p>
<p>区域区分の設定の状況</p>	<p>区域区分あり</p>
<p>将来動向</p>	<p>①都市計画区域人口</p>  <p>②商品販売額</p>  <p>③工業品出荷額等</p> 
<p>区域区分の有無と理由</p>	<p>本区域は現在、区域区分を設定している。</p> <p>本区域の平成27年の市街化区域内人口は522,410人、令和12年は502,086人と推計されており、平成27年をピークに減少に転じると予測されている。</p> <p>また、商品販売額は減少傾向だが、製造品出荷額等は増加傾向にあり、工業用地には新規需要が見込まれている。</p> <p>本都市計画区域には、福山環状道路の整備、重要港湾福山港・尾道糸崎港の港湾計画など、今後地域の社会・経済に大きな影響を及ぼすと考えられる計画があり市街地拡大の可能性が高いと考えられる。</p> <p>これらのことから、市街地の整序を図るため、区域区分を維持する。</p>

名称	因島瀬戸田都市計画区域																																																																																										
区域区分の設定の状況	区域区分なし																																																																																										
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	同一市内（尾道市）に備後圏都市計画区域が存在し、架橋により密接な関係があると考えられる。																																																																																										
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <table border="1"> <caption>①都市計画区域人口 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>都市計画区域</th> <th>用途地域</th> <th>用途地域外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>S55</td><td>48,000</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>S60</td><td>49,000</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H2</td><td>43,000</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H7</td><td>40,000</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H12</td><td>38,000</td><td>30,000</td><td>8,000</td></tr> <tr><td>H17</td><td>36,000</td><td>24,000</td><td>12,000</td></tr> <tr><td>H22</td><td>34,000</td><td>23,000</td><td>11,000</td></tr> <tr><td>H27</td><td>32,000</td><td>22,000</td><td>10,000</td></tr> <tr><td>H32</td><td>30,000</td><td>21,000</td><td>9,000</td></tr> <tr><td>H37</td><td>28,000</td><td>20,000</td><td>8,000</td></tr> <tr><td>H42</td><td>26,000</td><td>18,000</td><td>7,000</td></tr> <tr><td>H47</td><td>23,000</td><td>16,000</td><td>6,000</td></tr> </tbody> </table> <p>②商品販売額</p>  <table border="1"> <caption>②商品販売額 (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>商品販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>580</td></tr> <tr><td>H6</td><td>580</td></tr> <tr><td>H9</td><td>530</td></tr> <tr><td>H12</td><td>460</td></tr> <tr><td>H15</td><td>510</td></tr> <tr><td>H18</td><td>490</td></tr> <tr><td>H21</td><td>380</td></tr> <tr><td>H24</td><td>430</td></tr> </tbody> </table> <p>③工業品出荷額等</p>  <table border="1"> <caption>③工業品出荷額等 (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>工業品出荷額等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>880</td></tr> <tr><td>H6</td><td>950</td></tr> <tr><td>H9</td><td>1120</td></tr> <tr><td>H12</td><td>950</td></tr> <tr><td>H15</td><td>980</td></tr> <tr><td>H18</td><td>1180</td></tr> <tr><td>H21</td><td>1080</td></tr> <tr><td>H24</td><td>1100</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1050</td></tr> </tbody> </table>	年	都市計画区域	用途地域	用途地域外	S55	48,000	-	-	S60	49,000	-	-	H2	43,000	-	-	H7	40,000	-	-	H12	38,000	30,000	8,000	H17	36,000	24,000	12,000	H22	34,000	23,000	11,000	H27	32,000	22,000	10,000	H32	30,000	21,000	9,000	H37	28,000	20,000	8,000	H42	26,000	18,000	7,000	H47	23,000	16,000	6,000	年	商品販売額	H3	580	H6	580	H9	530	H12	460	H15	510	H18	490	H21	380	H24	430	年	工業品出荷額等	H3	880	H6	950	H9	1120	H12	950	H15	980	H18	1180	H21	1080	H24	1100	H27	1050
年	都市計画区域	用途地域	用途地域外																																																																																								
S55	48,000	-	-																																																																																								
S60	49,000	-	-																																																																																								
H2	43,000	-	-																																																																																								
H7	40,000	-	-																																																																																								
H12	38,000	30,000	8,000																																																																																								
H17	36,000	24,000	12,000																																																																																								
H22	34,000	23,000	11,000																																																																																								
H27	32,000	22,000	10,000																																																																																								
H32	30,000	21,000	9,000																																																																																								
H37	28,000	20,000	8,000																																																																																								
H42	26,000	18,000	7,000																																																																																								
H47	23,000	16,000	6,000																																																																																								
年	商品販売額																																																																																										
H3	580																																																																																										
H6	580																																																																																										
H9	530																																																																																										
H12	460																																																																																										
H15	510																																																																																										
H18	490																																																																																										
H21	380																																																																																										
H24	430																																																																																										
年	工業品出荷額等																																																																																										
H3	880																																																																																										
H6	950																																																																																										
H9	1120																																																																																										
H12	950																																																																																										
H15	980																																																																																										
H18	1180																																																																																										
H21	1080																																																																																										
H24	1100																																																																																										
H27	1050																																																																																										
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分が定められておらず、平成27年の都市計画区域内の人口は31,371人で、平成17年の35,739人から約4,350人減少しており、将来的にも減少することが予測される。</p> <p>また、産業分野では、製造品出荷額等は概ね横ばい、商品販売額は減少傾向で推移しており、今後ともこの傾向が続くと推測される。</p> <p>以上より、総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>そこで、土地利用制限を課す区域区分ではなく、用途地域等により土地利用規制を行うことが望ましいと考えられることから、本都市計画区域は区域区分を定めない。</p>																																																																																										

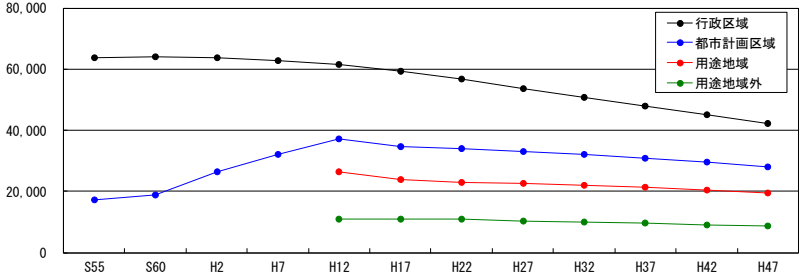
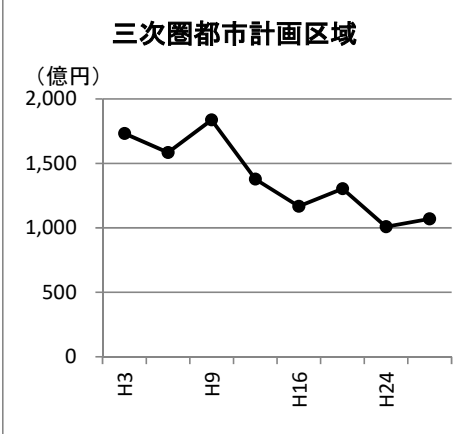
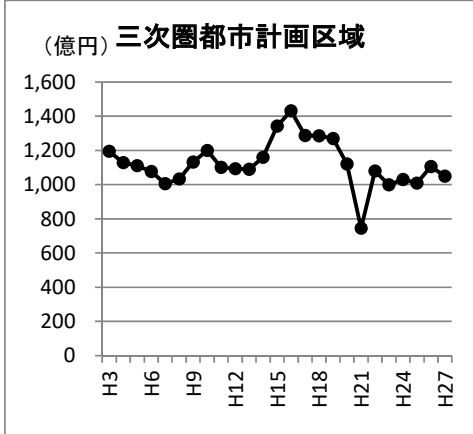
名称	上下都市計画区域
区域区分の設定の状況	区域区分なし
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	同一市内（府中市）に備後圏都市計画区域が存在するが、隣接していない。
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <p>②商品販売額</p>  <p>③工業品出荷額等</p> 
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分は定められておらず、平成27年の都市計画区域人口は2,238人であり、平成17年の2,429人から約200人減少しており、将来的にも減少することが予測される。</p> <p>産業分野では、商品販売額においては近年減少傾向であり、製造品出荷額等は大きく増加した後、近年は減少傾向である。</p> <p>以上のことから、総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>そこで、土地利用制限を課す区域区分ではなく、用途地域等により土地利用規制を行うことが望ましいと考えられることから、本区域は区域区分を定めない。</p>

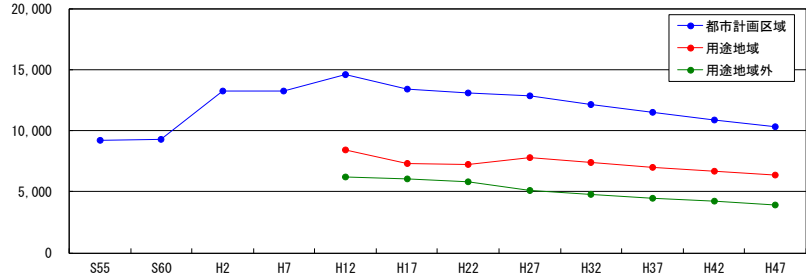
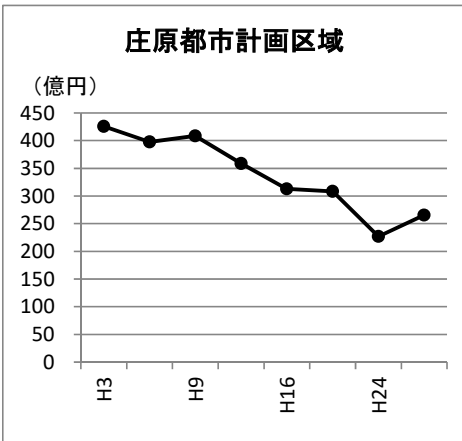
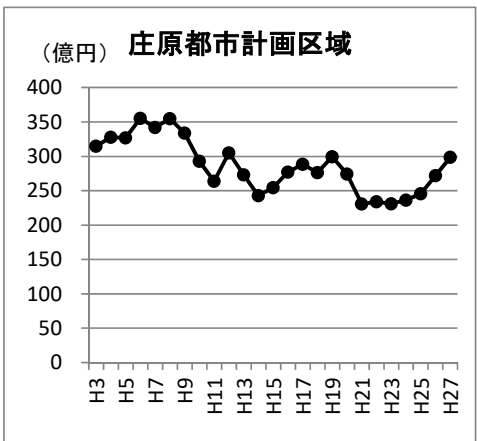
名称	本郷都市計画区域																																																																																				
区域区分の設定の状況	区域区分なし																																																																																				
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	同一市内（三原市）に備後圏都市計画区域が存在し、隣接している。																																																																																				
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p> <table border="1"> <caption>①都市計画区域人口 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>都市計画区域</th> <th>用途地域</th> <th>用途地域外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H2</td><td>10,500</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H7</td><td>11,000</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H12</td><td>10,500</td><td>6,000</td><td>5,000</td></tr> <tr><td>H17</td><td>10,000</td><td>5,500</td><td>5,500</td></tr> <tr><td>H22</td><td>10,500</td><td>6,500</td><td>4,500</td></tr> <tr><td>H27</td><td>10,500</td><td>7,000</td><td>4,000</td></tr> <tr><td>H32</td><td>10,000</td><td>6,500</td><td>3,800</td></tr> <tr><td>H37</td><td>9,500</td><td>6,200</td><td>3,500</td></tr> <tr><td>H42</td><td>9,000</td><td>6,000</td><td>3,200</td></tr> <tr><td>H47</td><td>8,500</td><td>5,800</td><td>3,000</td></tr> </tbody> </table> <p>②商品販売額</p> <table border="1"> <caption>②商品販売額 (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>商品販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>230</td></tr> <tr><td>H6</td><td>190</td></tr> <tr><td>H9</td><td>200</td></tr> <tr><td>H12</td><td>205</td></tr> <tr><td>H15</td><td>250</td></tr> <tr><td>H18</td><td>245</td></tr> <tr><td>H21</td><td>190</td></tr> <tr><td>H24</td><td>195</td></tr> <tr><td>H27</td><td>195</td></tr> </tbody> </table> <p>③工業品出荷額等</p> <table border="1"> <caption>③工業品出荷額等 (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>工業品出荷額等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>850</td></tr> <tr><td>H6</td><td>950</td></tr> <tr><td>H9</td><td>700</td></tr> <tr><td>H12</td><td>750</td></tr> <tr><td>H15</td><td>920</td></tr> <tr><td>H18</td><td>550</td></tr> <tr><td>H21</td><td>750</td></tr> <tr><td>H24</td><td>500</td></tr> <tr><td>H27</td><td>500</td></tr> </tbody> </table>	年	都市計画区域	用途地域	用途地域外	H2	10,500			H7	11,000			H12	10,500	6,000	5,000	H17	10,000	5,500	5,500	H22	10,500	6,500	4,500	H27	10,500	7,000	4,000	H32	10,000	6,500	3,800	H37	9,500	6,200	3,500	H42	9,000	6,000	3,200	H47	8,500	5,800	3,000	年	商品販売額	H3	230	H6	190	H9	200	H12	205	H15	250	H18	245	H21	190	H24	195	H27	195	年	工業品出荷額等	H3	850	H6	950	H9	700	H12	750	H15	920	H18	550	H21	750	H24	500	H27	500
年	都市計画区域	用途地域	用途地域外																																																																																		
H2	10,500																																																																																				
H7	11,000																																																																																				
H12	10,500	6,000	5,000																																																																																		
H17	10,000	5,500	5,500																																																																																		
H22	10,500	6,500	4,500																																																																																		
H27	10,500	7,000	4,000																																																																																		
H32	10,000	6,500	3,800																																																																																		
H37	9,500	6,200	3,500																																																																																		
H42	9,000	6,000	3,200																																																																																		
H47	8,500	5,800	3,000																																																																																		
年	商品販売額																																																																																				
H3	230																																																																																				
H6	190																																																																																				
H9	200																																																																																				
H12	205																																																																																				
H15	250																																																																																				
H18	245																																																																																				
H21	190																																																																																				
H24	195																																																																																				
H27	195																																																																																				
年	工業品出荷額等																																																																																				
H3	850																																																																																				
H6	950																																																																																				
H9	700																																																																																				
H12	750																																																																																				
H15	920																																																																																				
H18	550																																																																																				
H21	750																																																																																				
H24	500																																																																																				
H27	500																																																																																				
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分は定められていない。</p> <p>平成27年の都市計画区域人口は10,732人であり、平成17年の10,527人から約200人増加しているが、今後は減少することが予測されている。区域区分を有する備後圏都市計画区域と隣接することから、密接な関係があると考えられ、その影響を受ける可能性があるが、本区域はD I D(人口集中地区)を有しておらず、人口集積が進んでいない状況にある。</p> <p>産業分野では、商品販売額は近年概ね横ばい、製造品出荷額等はおおむね減少傾向で推移しており、今後ともこの傾向が続くと推測される。</p> <p>以上のことから、総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>そこで、土地利用制限を課す区域区分ではなく、用途地域等により土地利用規制を行うことが望ましいと考えられることから、本区域は区域区分を定めない。</p>																																																																																				

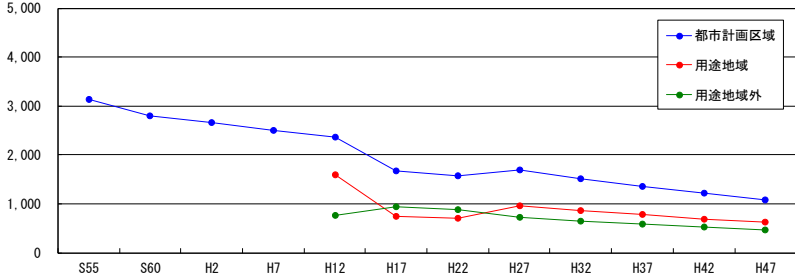
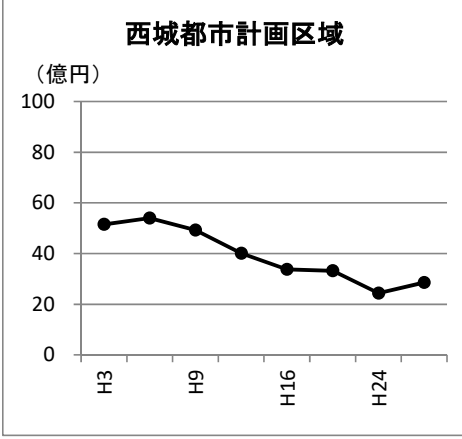
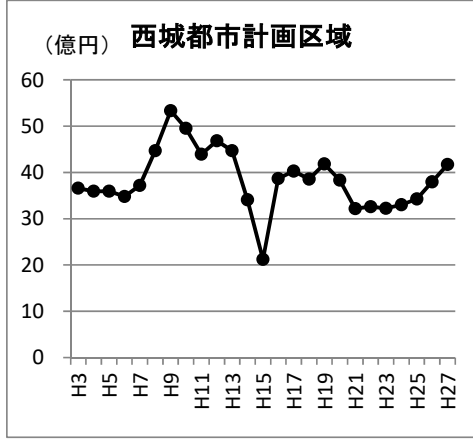
名称	世羅甲山都市計画区域
区域区分の設定の状況	区域区分なし
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	区域区分を設定している都市計画区域とは隣接していない。
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <p>②商品販売額</p>  <p>③工業品出荷額等</p> 
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分の設定はされておらず、平成27年の都市計画区域人口は6,119人であり、平成17年の6,007人から約100人増加しているが、将来的には減少することが予測されます。</p> <p>産業分野では、商品販売額は近年概ね横ばいで推移しており、今後も大きく伸びることはないと推測される。また、製造品出荷額等は平成19年以降減少傾向となっており、今後ともこの傾向が続くものと推測される。</p> <p>以上のことから、総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>そこで、土地利用制限を課す区域区分ではなく、用途地域等により土地利用規制を行うことが望ましいと考えられることから、本区域は区域区分を定めない。</p>

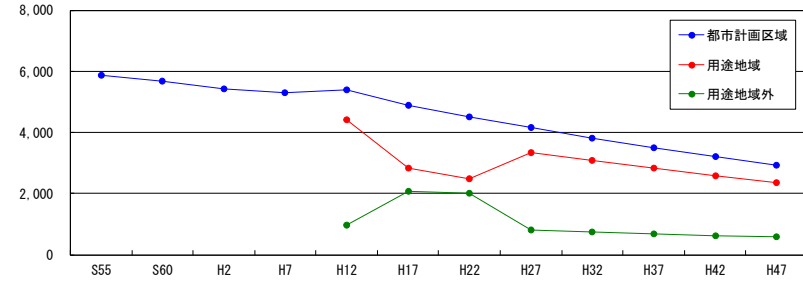
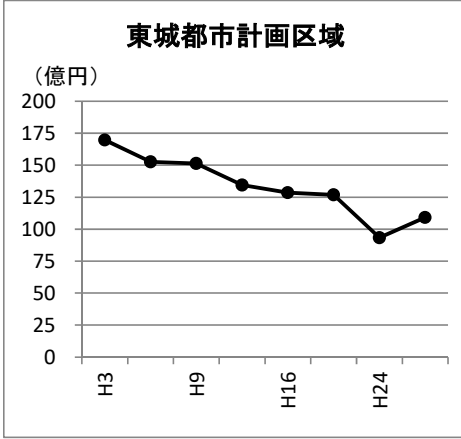
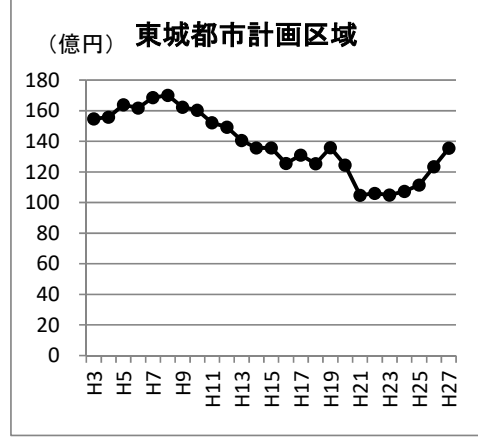
名称	御調都市計画区域																																																										
区域区分の設定の状況	区域区分なし																																																										
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	同一市内（尾道市）に備後圏都市計画区域が存在し、隣接している。																																																										
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p> <table border="1"> <caption>①都市計画区域人口</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H7</td><td>6,600</td></tr> <tr><td>H12</td><td>7,100</td></tr> <tr><td>H17</td><td>6,000</td></tr> <tr><td>H22</td><td>6,000</td></tr> <tr><td>H27</td><td>5,700</td></tr> <tr><td>H32</td><td>5,300</td></tr> <tr><td>H37</td><td>5,000</td></tr> <tr><td>H42</td><td>4,700</td></tr> <tr><td>H47</td><td>4,500</td></tr> </tbody> </table> <p>②商品販売額</p> <table border="1"> <caption>②商品販売額 (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>75</td></tr> <tr><td>H9</td><td>78</td></tr> <tr><td>H16</td><td>75</td></tr> <tr><td>H24</td><td>60</td></tr> </tbody> </table> <p>③工業品出荷額等</p> <table border="1"> <caption>③工業品出荷額等 (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>出荷額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>210</td></tr> <tr><td>H5</td><td>200</td></tr> <tr><td>H7</td><td>140</td></tr> <tr><td>H9</td><td>150</td></tr> <tr><td>H11</td><td>100</td></tr> <tr><td>H13</td><td>80</td></tr> <tr><td>H15</td><td>85</td></tr> <tr><td>H17</td><td>90</td></tr> <tr><td>H19</td><td>110</td></tr> <tr><td>H21</td><td>100</td></tr> <tr><td>H23</td><td>105</td></tr> <tr><td>H25</td><td>105</td></tr> <tr><td>H27</td><td>100</td></tr> </tbody> </table>	年	人口	H7	6,600	H12	7,100	H17	6,000	H22	6,000	H27	5,700	H32	5,300	H37	5,000	H42	4,700	H47	4,500	年	販売額	H3	75	H9	78	H16	75	H24	60	年	出荷額	H3	210	H5	200	H7	140	H9	150	H11	100	H13	80	H15	85	H17	90	H19	110	H21	100	H23	105	H25	105	H27	100
年	人口																																																										
H7	6,600																																																										
H12	7,100																																																										
H17	6,000																																																										
H22	6,000																																																										
H27	5,700																																																										
H32	5,300																																																										
H37	5,000																																																										
H42	4,700																																																										
H47	4,500																																																										
年	販売額																																																										
H3	75																																																										
H9	78																																																										
H16	75																																																										
H24	60																																																										
年	出荷額																																																										
H3	210																																																										
H5	200																																																										
H7	140																																																										
H9	150																																																										
H11	100																																																										
H13	80																																																										
H15	85																																																										
H17	90																																																										
H19	110																																																										
H21	100																																																										
H23	105																																																										
H25	105																																																										
H27	100																																																										
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分は定められておらず、平成27年の都市計画区域人口は5,765人であり、平成17年の6,096人から約300人減少しており、将来的にも減少することが予測される。</p> <p>区域区分を有する備後圏都市計画区域と隣接することから密接な関係があると考えられ、その影響を受ける可能性があるが、本区域はD I D(人口集中地区)を有しておらず、人口集積が進んでいない状況にある。</p> <p>産業分野では、商品販売額と製造品出荷額等はともに概ね横ばいで推移しており、今後ともこの傾向が続くものと推測される。</p> <p>以上のことから、総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>そこで、土地利用規制を行う必要がある場合は、土地利用制限を課す区域区分ではなく、用途地域等により土地利用規制を行うことが望ましいと考えられることから、本区域は区域区分を定めない。</p>																																																										

(3) 備北圏域の都市計画区域

名称	三次圏都市計画区域
区域区分の設定の状況	区域区分なし
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	区域区分を設定している都市計画区域とは隣接していない。
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <p>②商品販売額</p>  <p>③工業品出荷額等</p> 
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分が定められておらず、平成27年の都市計画区域人口は33,014人で、平成17年の34,729人から約1,700人減少しており、将来的にも減少することが予測される。</p> <p>また、産業分野では、製造品出荷額等はおおむね横ばい、商品販売額は、近年減少傾向にあり、今後ともこの傾向が続くものと推測される。</p> <p>以上のことから、総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>したがって、土地利用制限を課す区域区分ではなく、用途地域等により土地利用の整序を行うことが望ましいと考えられることから、本都市計画区域は区域区分を定めない。</p>

名称	庄原都市計画区域
区域区分の設定の状況	区域区分なし
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	区域区分を設定している都市計画区域とは隣接していない。
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <p>②商品販売額</p>  <p>③工業品出荷額等</p> 
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分が定められておらず，平成27年の都市計画区域人口は12,875人で，平成17年の13,396人から約500人減少しており，将来的にも減少することが予測される。</p> <p>また，産業分野では，商品販売額は，近年減少傾向にある。製造品出荷額等は微増傾向にあるが，過去の実績値を大きく上回るものではない。</p> <p>以上のことから，総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>したがって，土地利用制限を課す区域区分ではなく，用途地域等により土地利用の整序を行うことが望ましいと考えられることから，本都市計画区域は区域区分を定めない。</p>

名称	西城都市計画区域																																																																																																												
区域区分の設定の状況	区域区分なし																																																																																																												
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	区域区分を設定している都市計画区域とは隣接していない。																																																																																																												
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <table border="1"> <caption>①都市計画区域人口 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>都市計画区域</th> <th>用途地域</th> <th>用途地域外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>S55</td><td>3,100</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>S60</td><td>2,800</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H2</td><td>2,600</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H7</td><td>2,500</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H12</td><td>2,400</td><td>1,600</td><td>800</td></tr> <tr><td>H17</td><td>1,700</td><td>700</td><td>900</td></tr> <tr><td>H22</td><td>1,600</td><td>700</td><td>900</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,700</td><td>1,000</td><td>700</td></tr> <tr><td>H32</td><td>1,500</td><td>900</td><td>600</td></tr> <tr><td>H37</td><td>1,400</td><td>800</td><td>600</td></tr> <tr><td>H42</td><td>1,200</td><td>700</td><td>500</td></tr> <tr><td>H47</td><td>1,100</td><td>600</td><td>500</td></tr> </tbody> </table> <p>②商品販売額</p>  <table border="1"> <caption>②商品販売額 (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>商品販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>50</td></tr> <tr><td>H5</td><td>52</td></tr> <tr><td>H7</td><td>48</td></tr> <tr><td>H9</td><td>40</td></tr> <tr><td>H11</td><td>35</td></tr> <tr><td>H13</td><td>32</td></tr> <tr><td>H15</td><td>25</td></tr> <tr><td>H17</td><td>28</td></tr> <tr><td>H19</td><td>25</td></tr> <tr><td>H21</td><td>22</td></tr> <tr><td>H23</td><td>25</td></tr> <tr><td>H25</td><td>28</td></tr> <tr><td>H27</td><td>30</td></tr> </tbody> </table> <p>③工業品出荷額等</p>  <table border="1"> <caption>③工業品出荷額等 (億円)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>工業品出荷額等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H3</td><td>35</td></tr> <tr><td>H5</td><td>35</td></tr> <tr><td>H7</td><td>35</td></tr> <tr><td>H9</td><td>52</td></tr> <tr><td>H11</td><td>45</td></tr> <tr><td>H13</td><td>45</td></tr> <tr><td>H15</td><td>20</td></tr> <tr><td>H17</td><td>38</td></tr> <tr><td>H19</td><td>38</td></tr> <tr><td>H21</td><td>32</td></tr> <tr><td>H23</td><td>32</td></tr> <tr><td>H25</td><td>35</td></tr> <tr><td>H27</td><td>40</td></tr> </tbody> </table>	年	都市計画区域	用途地域	用途地域外	S55	3,100	-	-	S60	2,800	-	-	H2	2,600	-	-	H7	2,500	-	-	H12	2,400	1,600	800	H17	1,700	700	900	H22	1,600	700	900	H27	1,700	1,000	700	H32	1,500	900	600	H37	1,400	800	600	H42	1,200	700	500	H47	1,100	600	500	年	商品販売額	H3	50	H5	52	H7	48	H9	40	H11	35	H13	32	H15	25	H17	28	H19	25	H21	22	H23	25	H25	28	H27	30	年	工業品出荷額等	H3	35	H5	35	H7	35	H9	52	H11	45	H13	45	H15	20	H17	38	H19	38	H21	32	H23	32	H25	35	H27	40
年	都市計画区域	用途地域	用途地域外																																																																																																										
S55	3,100	-	-																																																																																																										
S60	2,800	-	-																																																																																																										
H2	2,600	-	-																																																																																																										
H7	2,500	-	-																																																																																																										
H12	2,400	1,600	800																																																																																																										
H17	1,700	700	900																																																																																																										
H22	1,600	700	900																																																																																																										
H27	1,700	1,000	700																																																																																																										
H32	1,500	900	600																																																																																																										
H37	1,400	800	600																																																																																																										
H42	1,200	700	500																																																																																																										
H47	1,100	600	500																																																																																																										
年	商品販売額																																																																																																												
H3	50																																																																																																												
H5	52																																																																																																												
H7	48																																																																																																												
H9	40																																																																																																												
H11	35																																																																																																												
H13	32																																																																																																												
H15	25																																																																																																												
H17	28																																																																																																												
H19	25																																																																																																												
H21	22																																																																																																												
H23	25																																																																																																												
H25	28																																																																																																												
H27	30																																																																																																												
年	工業品出荷額等																																																																																																												
H3	35																																																																																																												
H5	35																																																																																																												
H7	35																																																																																																												
H9	52																																																																																																												
H11	45																																																																																																												
H13	45																																																																																																												
H15	20																																																																																																												
H17	38																																																																																																												
H19	38																																																																																																												
H21	32																																																																																																												
H23	32																																																																																																												
H25	35																																																																																																												
H27	40																																																																																																												
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分が定められていない。</p> <p>平成27年の都市計画区域人口は1,684人で、平成17年の1,679人から概ね横ばいで推移しているが、今後は減少することが予測される。</p> <p>また、産業分野では、商品販売額は、近年減少傾向にある。製造品出荷額等は微増傾向にあるが、過去の実績値を大きく上回るものではない。</p> <p>以上のことから、総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>したがって、土地利用制限を課す区域区分ではなく、用途地域等により土地利用の整序を行うことが望ましいと考えられることから、本都市計画区域は区域区分を定めない。</p>																																																																																																												

名称	東城都市計画区域
区域区分の設定の状況	区域区分なし
区域区分を設定している都市計画区域との関係性	区域区分を設定している都市計画区域とは隣接していない。
将来動向	<p>①都市計画区域人口</p>  <p>②商品販売額</p>  <p>③工業品出荷額等</p> 
区域区分の有無と理由	<p>これまで区域区分が定められておらず，平成27年の都市計画区域人口は4,149人で，平成17年の4,885人から約700人減少しており，将来的にも減少することが予測される。</p> <p>また，産業分野では，商品販売額は，近年減少傾向にある。製造品出荷額等は微増傾向にあるが，過去の実績値を大きく上回るものではない。</p> <p>以上のことから，総合的に判断すると区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと考察される。</p> <p>したがって，土地利用制限を課す区域区分ではなく，用途地域等により土地利用の整序を行うことが望ましいと考えられることから，本都市計画区域は区域区分を定めない。</p>

4-3 都市の成長性等の検討

現在、区域区分を定めていない都市計画区域については、4-1 区域区分の有無の判断基準の判断フローに基づいて検討し、区域区分を定めませんこととします。

(1) 現在、区域区分を設定していない区域

現在非線引きの都市計画区域は、次の19区域です。

圏域	非線引き都市計画区域	
広島圏域	佐伯都市計画区域	音戸都市計画区域
	宮島都市計画区域	川尻安浦都市計画区域
	江田島都市計画区域	河内都市計画区域
	吉田都市計画区域	安芸津都市計画区域
	千代田都市計画区域	竹原都市計画区域
備後圏域	因島瀬戸田都市計画区域	世羅甲山都市計画区域
	上下都市計画区域	御調都市計画区域
	本郷都市計画区域	
備北圏域	三次圏都市計画区域	西城都市計画区域
	庄原都市計画区域	東城都市計画区域

(2) 現在、区域区分を設定している都市計画区域と隣接している区域

現在、非線引きの都市計画区域のうち、線引き都市計画区域に隣接している区域は、次の6区域です。

市町	非線引き都市計画区域
呉市	川尻安浦都市計画区域
東広島市	河内都市計画区域
	安芸津都市計画区域
竹原市	竹原都市計画区域
三原市	本郷都市計画区域
尾道市	御調都市計画区域

(3) 判断基準 1 都市の成長性

① 過去10年間及び10年後(推計)の行政人口の推移

市町	行政人口
呉市	<p>人口は減少傾向です。</p>
東広島市	<p>人口は概ね横ばい です。</p>
竹原市	<p>人口は減少傾向です。</p>
三原市	<p>人口は減少傾向です。</p>
尾道市	<p>人口は減少傾向です。</p>

②, ⑤ DID 地区の過去 10 年間の人口と面積規模の推移

市町	DID 地区の人口と面積
呉市	<p>人口, 面積ともに縮小傾向です。</p>
東広島市	<p>人口, 面積ともに増加傾向です。</p>
竹原市	竹原市には DID 地区はありません。
三原市	<p>人口は, 減少傾向ですが, 面積は横ばいです。</p>
尾道市	<p>人口は, 減少傾向ですが, 面積は微増です。</p>

③, ④ 過去10年間の商業販売額と工業出荷額の伸び

	商品販売額	工業出荷額
呉市	<p>減少傾向です。</p>	<p>近年は増加傾向です。</p>
東広島市	<p>概ね横ばいです。</p>	<p>やや増加傾向です。</p>
竹原市	<p>微減傾向です。</p>	<p>概ね横ばいです。</p>
三原市	<p>減少傾向です。</p>	<p>概ね横ばいです。</p>
尾道市	<p>減少傾向です。</p>	<p>増加傾向です。</p>

以上、(3) ①～⑤により、都市の成長性について総合的に検討した結果、呉市、竹原市、三原市、尾道市については、今後も区域区分の設定を検討するほどの著しい都市の成長性は有していないと推察されます。

このため、川尻安浦都市計画区域、竹原都市計画区域、本郷都市計画区域、御調都市計画区域については、区域区分を設定しないこととします。

東広島市については、人口増加や産業の伸びの可能性から都市の成長性があると推察されることから、河内都市計画区域と安芸津都市計画区域については、次の**判断基準2 市街地拡大の可能性**について検討します。

(4) 判断基準2 市街地拡大の可能性

①, ② 過去10年間及び10年後(推計)の都市計画区域内及び用途地域内人口の推移

都市計画区域	都市計画区域内及び用途地域内人口
河内 都市計画区域	<p>都市計画区域内人口は減少傾向ですが、用途地域内人口は概ね横ばいです。</p>
安芸津 都市計画区域	<p>都市計画区域内及び用途地域内人口は、ともに減少傾向です。</p>

③ 用途地域内の世帯数の伸び

都市計画区域	世帯数
河内 都市計画区域	<p>やや増加傾向です。</p>
安芸津 都市計画区域	<p>概ね減少傾向です。</p>

④, ⑤ 過去10年間及び10年後（推計）の商業用地及び工業用地需要の伸び

	商業用地の推移	工業用地の推移																
河内都市計画区域	<table border="1"> <caption>河内都市計画区域 商業用地の推移</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>需要 (㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>210,120</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>176,421</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>180,169</td> </tr> </tbody> </table> <p>概ね減少傾向です。</p>	年	需要 (㎡)	H17	210,120	H22	176,421	H27	180,169	<table border="1"> <caption>河内都市計画区域 工業用地の推移</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>需要 (㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>902,310</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>902,253</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>739,726</td> </tr> </tbody> </table> <p>概ね減少傾向です。</p>	年	需要 (㎡)	H17	902,310	H22	902,253	H27	739,726
年	需要 (㎡)																	
H17	210,120																	
H22	176,421																	
H27	180,169																	
年	需要 (㎡)																	
H17	902,310																	
H22	902,253																	
H27	739,726																	
安芸津都市計画区域	<table border="1"> <caption>安芸津都市計画区域 商業用地の推移</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>需要 (㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>142,827</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>132,778</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>130,657</td> </tr> </tbody> </table> <p>概ね減少傾向です。</p>	年	需要 (㎡)	H17	142,827	H22	132,778	H27	130,657	<table border="1"> <caption>安芸津都市計画区域 工業用地の推移</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>需要 (㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>686,464</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>794,205</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>807,440</td> </tr> </tbody> </table> <p>やや増加傾向です。</p>	年	需要 (㎡)	H17	686,464	H22	794,205	H27	807,440
年	需要 (㎡)																	
H17	142,827																	
H22	132,778																	
H27	130,657																	
年	需要 (㎡)																	
H17	686,464																	
H22	794,205																	
H27	807,440																	

⑥ 主要プロジェクト（基準年の10年後）の有無

河内都市計画区域，安芸津都市計画区域ともに市街地の拡大に影響するほどのプロジェクトの予定はありません。

以上，（４）①～⑥により，市街地拡大の可能性について総合的に検討した結果，河内都市計画区域及び安芸津都市計画区域については，今後も区域区分の設定を検討するほどの著しい市街地拡大の可能性は有していないと推察されます。

このため，河内都市計画区域及び安芸津都市計画区域についても，区域区分を設定しないこととします。